（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十二年九月七日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万三千四百五十[illegible]號　（一）

臺灣日日新報
夕刊
九月六日
夕刊定價一部二錢
編輯發行人　佐々木[illegible]
發行所　臺北市榮町四丁目參拾貳番地　臺灣日日新報社
基隆市[illegible]町（電話七八五）基隆支局
臺中市[illegible]町（電話一〇七）臺中支局
臺南市[illegible]町（電話[illegible]〇）臺南支局
花蓮港街入船町　花蓮港支局
大阪市西區[illegible]丁目（ユタカビルディング內）大阪支局
東京市京橋區銀座參丁目（[illegible]館內）東京支局

靴を丈夫にする
サンエッチ
靴クリーム

交通遮斷は財政の致命傷

對內移出入は杜絶

海關收入の大部分皆無となり

國民政府には大痛棒

【上海五日發同盟】支那船舶の交通遮斷區域擴大に依り支那沿岸各港は支那船舶に關する限り完全に遮斷された譯で國外からの物資供給困難に依る致命的打擊も然ることながらこれが經濟上及び財政上に及ぼす影響は實に甚大なるものがある、昨年度の全支沿岸出入船舶合計一億四千五百万噸中支那汽船は約四千万噸を占め右以外の約五百万噸の戎克とともに主として沿岸貿易に從事してゐるが今回の交通遮斷に依るこれら沿岸航路は長江上流の一部を除いては全く停止の已むなきに至り年額十億元に達する對內移出入の杜絶に依り國內物資の流通は極度に困難な狀態に陷るものと見られる、なほ第三國船舶に對しては通商上の權益を尊重して航行の自由を妨害しない建前を取つてゐるが各國船舶とも高率戰時保險料で支那向け積荷の激減と交戰地區に接近する危險回避から沿岸各港への出入を殆ど休止してゐる狀態にあるので全支は今や經濟封鎖に等しき大打擊を蒙り國民經濟の窮迫は日々に熾烈化するであらう、更に今回の交通遮斷に依り全支の海關收入の大部分は皆無となり年額三億元を超ゆる國民政府の最大財源の消滅は軍費の膨脹と相待つて國民政府の財政的窮迫に一段と拍車を加ふべく今回のわが方の措置は各方面の觀點より見て頗る有效適切なるものと見られてゐる

支那早くも悲鳴

ガソリン販賣に制限

（南京五日發本社特電）事變の永續と我が海軍による支那船舶の航行遮斷により支那國內の物資窮乏は漸く顯著の度を加へつつあり就中空軍及び軍需輸送用として最も重要品たるガソリンは國外よりの供給を斷たれ著しく缺乏し前途頗る不安を感ずるに至つたので南京市政府は今回外國石油會社と契約しガソリン及び石油の販賣を特別許可ある者のみに限定し油量も自動車一臺に付き一日二ガロンに制限し今後の情勢如何によつては更に其限度を縮小すべき旨發令した、尚ガソリン及び石油の輸送にも政府の許可を必要とし消費配給に徹底的統制を加へることとなつた

諮問機關を設置

擧國一致非常時則應のため

首相が"計畫中"と言明

【東京五日發同盟】支那事變の擴大とともに戰時に對處すべき內閣の强化については過般來近衞首相もその必要を認め衆知を集めて擧國一致の體制を整備する意向を懷いてゐたが五日衆議院本會議における社大黨の片山哲氏、東方會の中野正剛氏の質問に對し首相は左の如く所信を披べ今議會の終了とともに强力なる諮問機關を設置する方針を明かにした、卽ち首相の言明は

重大なる時局を突破するため獨り外交のみならず經濟、產業各方面に亙り凡ゆる知識を吸收し各方面の協力援助に依り時局に對處したいと考へてゐる

といふにあり、その組織方法はなほ今後の攻究に待つことになつてゐるが從來の大調査會、大評議會が主として政治勢力の綜合を目指してゐたに對し近衞首相は專ら首相自身のブレーン・トラストたらしめんとしその組織に當つて新機軸を出すことに苦慮してゐる、なほ右に伴ふ經費は追加豫算案として要求しない方針であり大體第二豫備金から支出することとならう

軍工路北方の敵に攻擊開始

【上海六日發同盟】第〇艦隊報道部六日午前九時發表

六日早朝よりわが陸戰隊はわが航空部隊及び江上艦艇の爆擊、砲擊の支援下に陸軍部隊と協力して軍工路北方地區の敵に對し猛烈なる攻擊を開始せり

虬江の敵陣火災

【上海六日發同盟】虬江碼頭附近敵陣地はわが砲擊に依り六日午前六時四十分火災を起した

死傷數千名

【上海五日發同盟】第〇艦隊報道部五日午後八時二十分發表、本早朝眞如方面を偵察中の我が海軍航空部隊は北新涇附近にて敵の大部隊集團の移動中なるを發見上空より荒鷲の如く殺到、機關銃の掃射を加へると共にこの敵に對し數回に亙り反覆爆擊掃射を行ひ徹底的に潰滅せしめたり、敵の損害は極めて大にして死傷者數千の見込みである

增援部隊は殆んど潰滅

我空襲によつて

【上海五日發同盟】わが海軍航空隊〇機が眞茹附近北新涇において今朝來猛爆掃射を加へた敵の密集部隊は同方面から閘北戰線への强化補充のため新に增援移動中のものでわが空襲に依り殆ど潰滅に瀕し死傷者數千に上る模樣で眞茹方面から佛租界の病院に負傷者を運ぶトラックが數十台列をなして急行往復してゐるのが機上から明瞭に認められた

近衞首相を陣頭に

國民精神總動員

臨時議會の終了をまつて

東京で大演說會開催

（東京六日發同盟）政府は支那事變に對して國民精神總動員の實を擧ぐべく過般來文部省を中心にこれが具體的實行方法について協議中であつたが五日各閣僚が院內において協議の結果臨時議會の終了を俟ち愈よ國民精神總動員計畫の具體的實行に大々的に乘出すこととなり先づこれが第一着手として來る十一日頃日比谷公會堂において一大演說會を催し近衞首相を初め馬場內相、安井文相その他各閣僚列席し國民に積極的に呼びかけることとなつた

軍司令官歸北

去る二日より西部及び南部部隊を初度巡視中の古莊軍司令官は五日午後二時五十六分台北驛着で歸北した

督戰隊と交戰

支那兵が同士打ち

背後には女學生が銃彈運び

【上海五日發同盟】五日夕刻來の金家宅方面の激戰に際しわが前線用雙眼鏡を以て觀戰するに敵は前線の直ぐ後ろに督戰隊を控へわが猛擊に堪へ兼ねて前線より敗走する兵士に射擊しかけるので退却兵もこれに對抗する爲め銃を逆にして督戰隊と交戰同士打ちする有樣が五、六百米しか離れぬわが前線より觀測された、尚第一線の直ぐ背後には女學生が出役銃彈運びに從事してゐるのが見られこれ等の事は敵抵抗の執拗さを頷かせる

腑甲斐ない

支那の青年團

事變以來殆ど逃避

【香港六日發】事變前より大同團結による救國の前衞として注目された支那各地青年、壯丁訓練團は事變の進捗と共に團員の逃避相次ぎ目下全く有名無實となり入團せる百五十七師長の如きは其腑甲斐なき非國家的行動に激怒しをるも團員は既に四散して如何ともなし難く又訓練所の幹部連は此種訓練の効果を過信するのが過りだとして案外平氣である

新聞を彈壓

【香港六日發】廈門の華僑日報は三日の紙上に日本軍艦及び飛行機の廈門攻擊の記事を掲載せる爲め十日間の發刊禁止處分に附せられることになつた」右は國民政府の訓令による省政府の示達あるに拘らず戰況の眞相を報道し讀者をして支那側の戰勝のみを信ぜしむ可き國民政府の方針に違反したと云ふのが理由である

爆擊と機關銃で

敵陣を掃射

六日拂曉から敢行

（上海六日發同盟）東部戰線に於ける陸、海、艦砲協力の猛攻擊に呼應し海軍航空隊は全線に亙つて出動特に西部戰線眞茹、蘇州河上流方面の敵に對して六日早朝より間斷なく爆擊及び機銃の掃射を敢行中である

一齊に總攻擊

空、陸、海相呼應して

【上海六日發同盟】わが軍は六日午前六時を期し租界東部線一帶より敵の大部隊の蟠居する市政府方面に向つて空、陸、海相呼應して一齊に曉の總攻擊を開始した、江上に碇泊せる艦艇よりの砲擊とわが空軍の爆擊及び陸軍〇砲隊の掩護の下に勇敢無比のわが陸戰隊は前線に猛進を開始しその銃砲聲は殷々として黎明の全上海を壓し壯烈なる拂曉戰を展開した

東部戰線も猛擊

【上海六日發同盟】久しく沈默を守つた上海東部戰線進擊の時は來た、五日共同租界附近に上陸した我が右翼部隊の一部は六日午前六時頃より楊樹浦に於いて陸戰隊と協力し楊樹浦、滬江大學各前方の頑强な敵陣地に猛烈なる攻擊を開始した、我が軍艦もこれと呼應して巨砲を敵陣に射ち込んでゐる、我が荒鷲も頻に敵上空に活躍し目下同方面は陸海空呼應の壯烈なる肉彈戰を展開してゐる

敵陣地完全に破壞

【上海六日發同盟】六日午前六時頃我、砲擊は軍工路より市政府に通ずる道路交叉點附近にあつた敵陣地は完全に破壞された

軍事委員會閉鎖

【香港六日發】國民政府軍事委員會は九月一日より閉鎖し、從來同委員會に於て處理した重要事項は今後大本營第一部に於て取扱ふこととなつたと傳へられて居る

廈門市長更迭

【香港六日發】廈門市長は九日更迭、高少[illegible]が就任した

認可資本は五十萬圓以上

【東京六日發同盟】臨時資金調整法に依り新設增資拂込み目的變更及び合併に關し政府の認可を要する會社は公稱資本金五十万円以上の會社（合併の場合は合併後會社の公稱資本金五十万円以上）とするに五日の第二回準備委員會において決定した

衆議院豫算總會

愈よ六日から開會

【東京六日發同盟】衆議院豫算總會は六日午前九時二十一分開會

一、昭和十二年度歲入歲出總豫算追加案（政府提出）

一、昭和十二年度各特別會計歲入歲出追加案（同上）

一、臨時軍事費豫算案（同上）

を一括附議賀屋藏相より三案の內容につき說明、次いで杉山、米內、廣田、馬場及び賀屋の五相より夫々所管事項につき說明あつて後質疑に入り

小川鄉太郎氏（民政）今次の追加豫算は如何なる狀況に迫つてのものであるか

賀屋藏相 二十億圓の追加豫算でいつまで戰ふ豫定になつてゐるかは申し上げられぬ

杉山陸相 作戰に重大なる變化なき限り現在[illegible]臨時議會を開いて追加豫算の審議を願ふ必要になると考へてゐる

小川氏 ソ支不可侵條約、[illegible]スペイン化、[illegible]などについて政府は如何に考へてゐるか[illegible]

廣田外相 ソ支不可侵條約は時局に重大なる變化を齎らした、不侵略條約は兩國が曾て希望してゐたところであるが今日この際これが成立した事は決して等閑に附し得ない重大問題である この條約成立に際し許駐日支那大使はその性質が單に消極的であつて密約などの特別の意味がない事、又支那は共產化する事がない事を力說し新任ソ聯大使もソ聯が日支兩國關係に介入する事は絕對にないと力說してゐた、然し例へば最近について見るにスペインを中心にソ聯の旺盛な活動があつた事は周知の事實であり、之を最近支那に於ける共產黨の活動と思ひ合はせて重大な注意を要するものと考へて注目を拂つてゐる

小川氏 追加豫算に伴ふ物資の供給關係はどうなつてゐるか

陸相 外國から供給を仰がねばならぬ物資は比較的少額である

小川氏 [illegible]する爲め生[illegible]資金はどこから來るのか[illegible]

藏相 [illegible]と事變に伴ふ需要に兩分して考へるに前者は從前の四倍以上もの公債を放出する事になるので惡性インフレの惧れがある然し之は相當先きの事でこの狀態に立ち到る迄には相當金融硬塞を來すものと思ふこの際市場から資金を吸ひ上げる事は更にこの弊を甚しからしむるもので却つて資金を市場に放出せしむる方が得策ではないかと考へてゐる資金が市場に溢れて惡性インフレ化の傾向を示す一步手前で方針を轉じ公債消化を計つて行く方向に進みたいと考へてゐる

小川氏 惡性インフレや物價騰貴の對策如何

藏相 資金が一般に行き亙り[illegible]或は興業債券又は公債政策に[illegible]つて資金を引しめる必要があると考へてゐる

小川氏 最後に[illegible]て質問を終る

岡田忠彥氏（政）今日の時局に我大和民族にとつて[illegible]

一、今次の非常立法は政府の時局對策の總てであるか

藏相 事變の終了は兩國家に協定が出來作戰用兵の必要がなくなつた狀態に於て動員を仰ぐ事にならう、政府の非常時對策は今次追加豫算及び各種法律案の範圍內に止るものである

岡田氏 北支の將來をどう考へるか

外相 將來北支をどうするかについては戰局の終結をまたねばならぬが日滿支三國にとつて明朗な地帶とする必要があると考へてゐる

岡田氏 青島の現地保護を行はず引揚を決行した理由如何

米內海相 大局的見地から引揚に決したので已むを得ない處置である

岡田氏 帝國の態度を列國に徹底せしめるため如何なる手段方法をとる積りであるか

廣田外相 單に外交官に止まらず外國と關係の深い人々を煩はして帝國の眞意徹底に努める積りである

かくて同零時二十分休憩となる（以下明刊）

壽府に招集

地中海沿岸國會議

英の提案に佛贊成

【ロンドン四日發同盟】英佛兩政府は地中海における潛水艦の不法行爲頻發に鑑み聯盟理事會開會を機にゼネバに地中海沿岸國會議を招集するに決定したがイギリス政府は右會議に提出すべき提案を四日午前フランス政府に通達したと解される、フランス政府はイギリス政府の提案に大體異議なく近く受諾の回答を發すると見られる同案の骨子と解される所は次の通りである

一、地中海沿岸諸國の潛水艦は自國領海を離れることを得ず但しスペイン兩交戰國所屬の潛水艦に限り特に例外を認め國際航行の便宜を圖る爲め航行區域を領海外一定水域まで擴張する

一、公海上潛水艦と認めた場合には締結國海軍が共同して出來る限りこれを擊沈す

一、地中海沿岸諸國は國際航行の保護に協力する旨を共同聲明を發する

攻守同盟を

祕密に折衝

親ソ派南京で蠢動

【上海五日發同盟】日支交戰中に發表されたソ支不可侵條約の背後に或る種の密約が存在する事は十分推測され頗る注目されてゐたが某方面の情報に據れば目下南京において馮玉祥とソ聯大使館附武官レーピン少將との間に攻守同盟に類した祕密折衝が行はれてゐると傳へられてゐる、右密約は

一、支那は國內にソヴエット地區を正式承認す

一、ソ聯の支那中央軍援助

一、對日共同作戰

一、支那はソ聯の同意なくして日本と講和せず

等の項目も含まれてゐる模樣であるが、果して南京政府とソ聯政府との折衝なりや否やは尚疑問が殘されむしろ抗日戰を機會に暗躍する馮玉祥一派の親ソ派の策動と解されレーピン少將との間に或る程度の諒解が出來た後これを國民政府に押しつけんとするものではないかと云はれてゐる

その日その日

○

濫りに事を構へた支那を膺懲する大精神は、議會へ賜つた勅語に炳乎、國民も襟を正すべし

○

現在の支那は、[illegible]のスペインださうだ、[illegible]外人[illegible]が、何となく日に日に圓滑になつて來るやうだ

○

防共に對する獨ソと容共、これでは全く水と火だ、いやでもスペインの如くならざるを得まい

○

戰局は擴大、戰禍は加重、外交は失敗、國土今や異鄕の危さだ、蔣及び國民黨の責任と罪科は至大

○

支那式戰爭の大看板——第一線と督戰隊との同士討ち、後方女學生のサーヴイス振り、コレでは戰車からスロースも出る譯

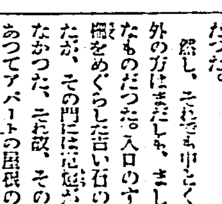
○

沿岸の遮斷は、支那の半身不隨化に拍車をかけるだらう、コレも自ら招いた墓穴の一つ

人事

▲三田定則氏（臺北帝大總長）新任挨拶のため六日本社來訪

無絃琴



當今は戰爭でさへ宣傳第一とあつて鳴り物入りでやつてゐるが、この方の本家は勿論初めから支那で、ウソや出鱈目を如何にも本當らしくこね上げて巧に宣傳效果を擧げて來た▲この宣傳が又バカにならぬ努力があるので、最近は日本側も"宣傳"に乘り出し、支那側のインチキ宣傳の反駁をも兼ねていろいろ面白い試みをやつてゐる▲天津の日本租界では、[illegible]アドバルーンを[illegible]"爆彈"といふ文字を掲げ、[illegible]などは[illegible]に日本軍の手で占領したといふ意味を周知させる方法をとつてゐる▲怒うかと思ふと上海では、支那の負傷兵で日本軍の手に捕へられ病院で手厚く看護されてゐる者や右の支那負傷兵の述懷などをビラに刷つて支那軍の上空より飛行機で撒布したりして、相當に宣傳效果を擧げてゐるやうだ、以前には見られなかつた宣傳風景ではある。（[illegible]租界內のアドバルーン）

浮標のごとき女

(81)

尾崎士郎作

梁川剛一畫

一　事件（四）

「そ、そんな」

「いやー――」

「だから」

「いや、行くよ、だが」

「ぢやあ、きつと來てくれますね？」

「ああ、きつと」

一戶勘介はもはや、ひた向きに迫つてくる白石の感情を拒むことができなかつた。しかし、彼はさう云つてから妙な氣持になつてしまつたのである。一戶は白石の女房である伊月早苗がどんな顏をしてゐるか、よくおぼえてゐなかつた。そんなことはどうでもいいとしても片銘がそんなことをしたとは夢にも考へられなかつた。もしほんたうだとしても今更どうなるものでもないといふことはわかりきつてゐたが、彼は有耶無耶のうちにその日の夕方、白石を訪問することを約束してしまつたのである。

白石の住んでゐるアパートは、芝公園の裏の、森をうしろに控へた高台の上にあつた。本道の――たぶん、これは古い官舍か何かを建てなほしたものにちがひないのであるが、そとから見るとまるで外國のやうなかんじだつた。

然し、それでも中へくらべるとましなくらゐなものだつた。入口のすぐ前に鐵柵をめぐらした古い石の門があつたが、その門には電燈が點いてゐなかつた、それ故、その晩、月があつてアパートの屋根の上を照してはゐたのであるが、それにもかかはらず一戶は門の前で何べんとなくマッチを擦らねばならなかつた。

それから彼は二階の[illegible]ボタンを[illegible]。

[illegible]方がないので重い扉をあけて中へ入つていつて

「おーい」

と怒鳴ると、声に應じて奧の方から、口が尖つて耳の長いボーイが出てきた。一戶が鄭重な言葉で白石氏は在宅であるかどうかといふことをたづねると、ボーイは、ニタリと笑つてから、彼が今、出てきたばかりの廊下の方角をゆびさした。

「ゐますよ、この廊下のつきあたりの部屋です」

兩側の部屋はしいんとして人がゐないやうであつた。白石の部屋だけ扉が半開きになつて、中から明りが洩れてゐる。

その前まで來たとき一戶は思はず立ちどまつた。――入口に靴や下駄がゴタゴタとならんでゐるところをみると、少なくとも四、五人の訪客があるらしい。そこへ、中から太い声がひびいてきた。

――「およそ、夫婦生活には倦怠期といふものがある、その倦怠期が、今、君たちの眼の前にあらはれて來たのぢや、いいかな、わしはこれでも既に七回、夫婦喧嘩の仲裁をしてゐるが何時も立派に解決をつけてゐるつもりぢや」

一戶はたぢたぢとなりながら、

「今晩は」

と、声をかけると、仕切りの格戶があいて不意に白石がズボンにワイシャツ一枚のままでぬつと顏を出した。

「あなたでしたか……ああ、實に感謝します」

白石は玄關に一戶の手をにぎりしめた。

「ねえ、[illegible]のやつ、到頭逃げましたよ、聖母にも、あの野郎、どうするか覺えてゐるがいい――しかし、僕は待つてゐましたよ、あなたの來るのを」

一戶がドギマギしながら入つてゆくと、壁をうしろにして坐つてゐた、五十年輩の黑い洋服を着た老紳士が眼鏡越しに彼の顏をぢろぢろと見てから立ちあがつた。

The Wonderful virtues of OZO is Proved by its Regular customers increasing Day by Day

お化粧下や
顏そり後に

化粧を生命とする花柳界では白粉下に、又顏剃後の豫防にオゾが盛んに使はれて居りますのは、公知のことでございますが、一般の御家庭でも常に殺菌力の强いオゾの下地でお化粧をなさいますと、第一衛生的であり、のびがよく、あれを防ぎ、白粉くづれせず、お肌にしつとりしみ込むオゾの深達作用が、皮膚の組織を適度に刺戟して新陳代謝を促し、傷を治す藥理作用で新鮮なお肌に整へ、榮養をよくし、皮膚を根本的に美化いたします。

又顏剃後の殺菌消毒に、あれやかぶれを防ぎ、その芳香は氣分をさつぱりと致します。

オゾ

怪我に
火傷に
皮ふ病に
靴ずれに
齒痛に
頭痛に
かぶれに
鼻詰りに
ぢ疾に
神經痛に

東京大森
オゾ本舖　都南莊

十錢
二十錢
三十錢
五十錢
一圓
二圓

A-41

金家宅の敵を撃滅し 金田部隊寶山縣に入城

城頭に日章旗ひらめく

【上海五日發同盟】鷹森部隊は去る二日呉淞砲台占領に引續き寶山城内に相當數の敵が蟠据せるを發見したが同城内には尚多數の非戰鬪員が殘存せるため直接これを攻撃するを避け二日朝來飛行機から盛んに投降勸告ビラを撒き平和裡に同城を接收せんと努めたが四日朝に至るも寶山城よりは何等投降の意思なかりしためこれを攻撃するに決した、然るに敵主力は同城西南一キロの曹家演、金家宅方面に數線に亙る強靭な陣地を構築しこれに據り抵抗しつつあること判明したので鷹森部隊長は砲兵の協力を得てこの城外の敵に四日夜より前後三回に亙り猛撃を加へ五日朝に至り淺間部隊の北方よりの進出、天谷部隊の南方よりの前進協力を得ての進撃に遂に頑強な金家宅の敵も遂に多數の死體を遺棄し正午頃潰走した、為めに重要據點を失つた寶山縣城南側の敵も續いて潰走しこのため金田部隊は敵の抵抗を受ける事なく城内非戰鬪員に損傷を與へず同日正午堂々寶山縣に入城し城頭高く日章旗を掲げた、金田部隊は呉淞砲台を易々として陷落せしめ最初の日章旗を掲げその勇猛を謳はれた部隊で金田部隊長以下鬼をも挫く勇士揃ひは再び寶山縣城に日章旗を掲ぐる榮冠を荷なつた譯である

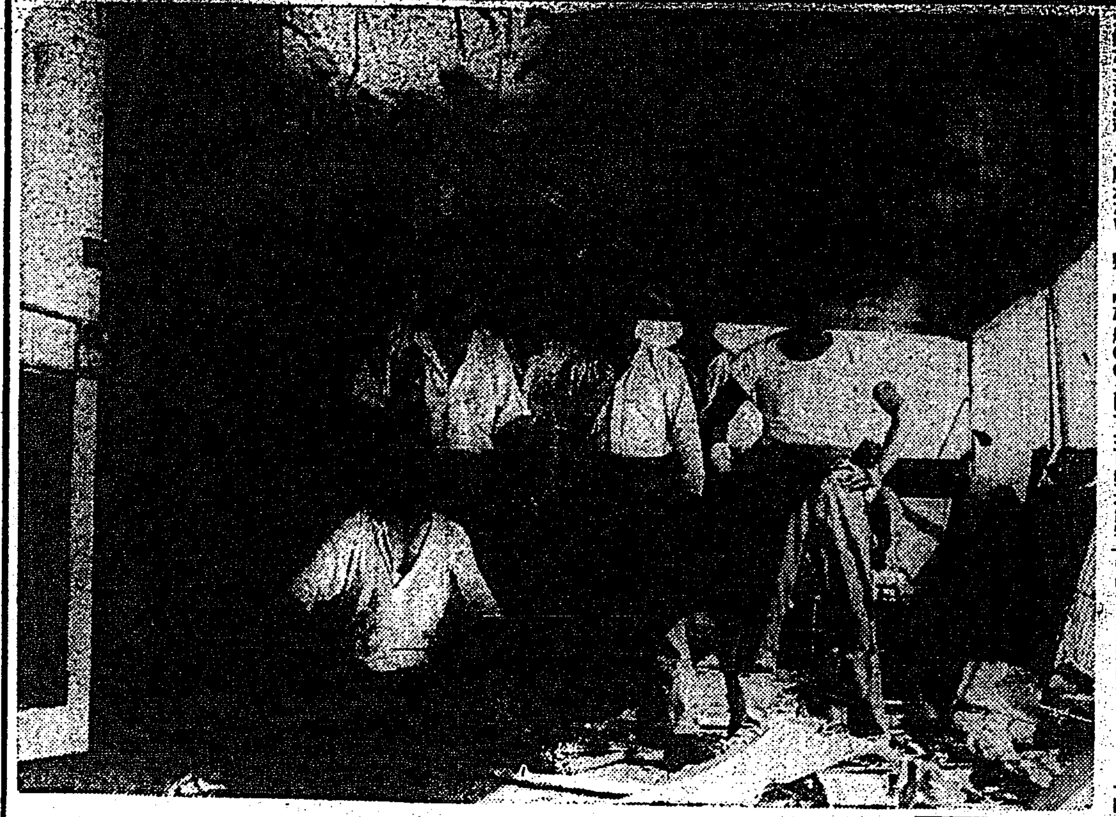
鷹森、天谷兩部隊の奮戰

【上海五日發同盟】二日朝來金家宅、曹家貸の線を確保した鷹森部隊は三日午後天谷部隊と合し金家宅、曹家演の線に依れる前面の敵を掃蕩するに決し四日朝來敵陣地に爆彈砲撃の制壓射撃を加へ壯烈な戰鬪が開始された、敵は迫撃砲機關銃を以て猛射を浴せ來り更に午後十時よりは夜襲戰を敢行して到る處に近接戰を演じ敵陣に甚大な損害を與へ五日正午頃遂に金家宅を占據するに至つた

壯烈・敵前上陸に 二人の生きた橋脚

戰史に輝く人柱二勇士

（上海一日本社竹崎特派員發）上陸先遣隊の輝く勳功は〇〇部隊長をして「世界戰史の上に輝く銘記さるべきもの」と激賞せしめたがこれら先遣隊の上陸第一歩を一層容易ならしめた「人柱二勇士」の存在は全軍の龜鑑として特筆さるべきである、すなはち去る八月二十三日早曉、月明の揚子江を遡つた鷹森部隊の先遣隊を乘せた船が〇〇岸壁に横づけとなるや忽ち敵陣地から起る集中砲撃、文字通り敵陣寸前の上陸だ、ひるまぬ先遣棚橋部隊の決死隊は矢庭に艦口を開いて、渡し板を出したが無念や丁が短くて屆かない、猛烈な閃光、耳を聾する銃声、決然としてふたたび渡し板を出した瞬間に敵彈が板を縦に割つた、さらに一枚、ああ二尺、タッタ二尺短い、褐色の水はヒタ〳〵と舷側をうつてゐる、とみるやザンブ〳〵とつづけさまに水音がしたかと思ふと、軍装のままの兵が二人、首だけを出して河を渡り、やつと汀に達して渡し橋の先端を左右から肩と肩とに擔ぎあげた「渡れ、今のうちだ」二人は戰友を呼んだ、河中に突き立つ生きた橋脚だ、尊い人柱だ、戰友は身のしまる思ひにドヤドヤと渡り切つた、軍靴の音も緩やかだつた、かくて上陸は二人の機敏にして機宜を得た勇猛な行為によつて果された、交戰二時間――物凄い白兵戰がそれから展開したのだつた、二人の兵、人柱二勇士の名は島岡一等兵、中岡一等兵



武勳の數々を殘し 増遣部隊勇士が歸艦

月餘に亙る戰塵にまみれ

【旗艦〇〇上にて五日發本社特電】支那事變發生と同時に直ちに旗艦〇〇より特別陸戰隊増遣部隊として派遣された勇士等は赫々たる武勳の數々を殘してその一部は一ケ月振りの五日午後二時過ぎ懷しの本艦に歸艦した、暑いのに將兵は鉢卷の紐を固く結んでその下から一月間のびるにまかせた髭がボウ〳〵として暗緑色の陸戰隊制服も汗と埃に濡れ切つてゐる、元氣よくタラップを驅け上つて來て後甲板に

整列する、〇〇艦長が眞白い洗ひたての軍服姿で現れ諸君御苦勞であつたと力強い感謝の辭を述れば、戰友連も悠々凱旋して來た同僚を圍んでその武勇談を聞くのである、だがどの勇士連も己の武勇を語らうともしない唯「敵は弱いナー」と云ひながら默々として然も嬉しさうに制服を脱ぐのであつた、誠田艦長を艦長室に訪問、本艦派遣部隊の陣中美談はと訊けば本艦許りから陸戰隊に派遣されたのではないし

美談だつたら他の艦から訊いた方が澤山あるだらう、然し本艦の部隊は皆立派にやつて呉れたことは何んとも感謝に堪へないと流石に武人らしく少しも功を誇らうとしなかつた、然し既報八月二十日羅状思威路の前線で「せめて一度だけ敵に銃彈を見舞たい」と重傷の身に戰友が握らせた銃を執つて敵に數發浴びせ莞爾として死んで行つた石原一等水兵、〔彈〕丸雨飛の中で

大膽にも敵を睨めつけながら電線修理の重任を果した白井二等水兵、又楊樹浦の激戰中敵の戰車に肉薄し之を捕獲した佐藤特務少尉以下勇猛連も皆此部隊だ

南支の華と散つた 十二勇士無言の凱旋

けふ高雄に入港

【高雄電話】暴戻飽く事を知らぬ廣東軍の膺懲の戰鬪に花々しい戰功を殘して南支の華と散つた我軍の勇士十二名の遺骨が五日午後八時〇〇〇〇〇で高雄に無言の凱旋をなした、〇〇は港内第十五岸壁に繫留を完了するや内海知事、高原内務、高橋警務兩部長、柴田海軍通信隊司令、松尾市尹を始め防衛團關係者等の盛大な出迎へ裡に遺骨十二柱は戰友に擁持されて直ちに上陸、自動車を連ねて市内堀江町東本願寺に到り同寺に安置された市役所では六日午後二時より同寺にてこれ等鼻東名譽の戰死者のため慰靈を兼ね追悼法要を執行したが、遺骨は當分の間同寺に安置し、近く高雄出帆の芝浦直航の便船で内地へ凱旋をする筈

報道陣の充實に 更に竹崎記者を派遣

上海の第一線へ

先に本社では天野正英記者を北支に、次いで上海に特派、具さに戰線にまで出入、報道に當らしめたが、今回更に、竹崎半之助記者を上海に派遣し、目下現地に在り活動中にて、本社は、既に同人より特電及び通信も到着してゐる、かくして本社は、支那事變に對する報道陣の完璧を期することとした（寫眞は本社竹崎特派員）

臺灣日日新報社

基隆港灣會の美擧

【基隆電話】基隆港灣會では五日午後基隆俱樂部樓上に於て幹事會を開催、高雄で開かれる全島實業大會に基隆代表として出席する公益社に對し港灣關係の提出希望の問題なきやを協議したが席上港灣會としては今後の例會をやめて貯金を節約、基隆市防衛團各地區分團に一團五十円づつ〇地區合計〇〇円を寄附する事に決定し、時宜に適した措置とされてゐる

赤十字旗も敵には 何の見境もない

病院船〇〇丸黄浦江上で遭難

竹崎本社特派員手記

敵前上陸を敢行した〇〇部隊の最前線にたどりついた私は、二十八日はからずも上陸最初の大激戰に遭遇し折柄の大雷雨を冒して從軍した[illegible]ゆる間もない敵砲彈の間隙なきまでの[illegible]に[illegible]兩脚吹き、僅にテク〳〵と[illegible]倒れ〳〵[illegible]といふ[illegible]を開したわが部隊の[illegible]、私は砂中になつて[illegible]

倉庫へ [illegible]りこむと一發、二發、三發[illegible]庫を取まくトタン壁に命中した倉庫も危い

もう行くところがないのだ、倉庫の後方はドス黑い黄浦口だ、雨に打つて滿々たる濁水は迫撃砲彈の落下で大水柱をあげてゐる、私たちは雨と彈丸の中を江上に赤十字の旗をかかげた病院船〇〇丸にとびこんだ、甲板にはトツプリ[illegible]船體はやますますとんでくる、江上[illegible]

水柱と [illegible]夕闇をつんざいて[illegible]あり[illegible]この船をねらつてゐる[illegible]船長は叫んだ[illegible]らい、船の周圍に敵彈が落下しはじめた、戰鬪力のない病院船を

觀測し [illegible]つた、船客[illegible]

須[illegible]とは、船長[illegible]する、五十メートル、三十メートル、敵彈は着々と近づいてくる、江上に躍る水柱は異樣の[illegible]た、[illegible]江上一帶[illegible]える、ハッキリと見える、岸の部落が見える、囲んだ陸のやうた家、家、家 もう誰もモノを言はない ザアーンバリ〳〵 ヒューツと音がして[illegible]迫撃砲彈のこの[illegible]アッ! ザアーン! [illegible]

敵彈は 甲板から船橋まで聞いてゐた二人の兵が呟いた 夜八時であつた 船長はスタ〳〵です、すぐ腕は探照の擦まで裂けて腕に突き刺つてゐます 兵が話してくれた、危險極上の病院船――船長は出航を命じた、ロープが斷れ船は全速力で江岸を離れジグザク航路をとりつつ下つた さうして一夜をシン〳〵と迫る江上の夜霧の中に過した、明けて二十九日、私は前甲で待機部隊長の死を聞いた思へば〇〇部隊長と會つたのは私が前線をひきあげる

途中の 〇〇地點であつた 敵前上陸を[illegible]

[illegible]

（寫眞は支那軍に砲撃されたわが病院船の近景[illegible]）

造言飛語犯人 禁錮十月を言渡さる

基隆の造言飛語犯人基隆市義重町若力郭才有に對し六日台北地方法院刑事單獨部岡裁判長から求刑の六月より重く禁錮十月の判決言渡があつた

父をたづねて 今樣石童丸が來臺

沖縄から湖北丸で

【基隆電話】六日朝基隆入港の商船沖繩航路湖北丸で總督府鑛務課の技師一行と共に沖繩縣下鑛山調査に赴いてゐた台灣拓殖會社員大西文一及び台北の鑛業家藤止直の兩氏が一足先に歸つて來たが大西氏は語る

專門家でないから詳しく判らぬが同島の鑛山は何によらず素晴しく有望なもの許りで今まで資本の關係で打ち棄てられてゐたのは惜しい、地理的關係から

言つても今後は營業かどしドシ〳〵出掛け開拓しなければ駄目だ、西表附近の一小島には層をなして露出したマンガン鑛があり又一月目頃も採掘出來る燐礦石の島もある、その他金銀、銅、鐵等も有望で正に寶庫である

同船で來台した沖繩縣特高課次席警部大嶺久雄氏は沖繩と台灣との關係益々緊密を加へるので警察事務の連絡に就て種々打合を行ふ

目的を持つてゐる由である、尚同船では父を探して遙々とやつて來た今樣石童丸があつた右は同縣島尻郡伊平屋村字諸見[illegible]榮名崎正之（二）と言ひ父は五年前家を出て消息を絶つその後母と十歳の弟を抱へて甲斐々々しく働いてゐたが最近父から台灣日月潭の消印で毎月キチン〳〵と送金して來るので急に戀しくなり日月潭の何處で一體何をしてゐるものやら臨頭り不明ではあるが台灣に行きさへすれば逢へるだらうと母と相談の上僅かな旅費、風呂敷包一個を持つた身輕さで勝手知らぬ台灣へやつて來たもので「是非お父さんに會つて覽ふ」と水上署員に親切に旅程を敎へられてマゴ〳〵しながら列車に乘り込んだ

あすの天氣

臺北地方　南の和風晴後曇

北部地方　南の和風晴後曇

東部地方　南の和風晴時々曇

西部地方　南東の和風晴

南部地方　南の和風晴後曇

概況（六日）七六四粍の高氣壓はバイカル湖方面にあり、南東に移動する模樣、本島は南部が其他は一般に晴近海は南の和風晴海上は穩であります

今晩の映畫

◆國際館 晝十一時半上映
1 銀翼の戰慄 午後[illegible]分
2 臺日支那事變ニュース [illegible]分
3 永遠の戰場 [illegible]分

◆芳乃館 晝十二時上映
1 月光の下に 午後[illegible]分
2 風流五家族 [illegible]分
3 燦たり皇軍 [illegible]分
4 大毎東日北支事變ニュース [illegible]分
5 本所七不思議 [illegible]分

◆大世界館 晝十二時半上映
1 お父さんの歌時計 午後[illegible]分
2 肉彈總攻撃 [illegible]分
3 美人宿 [illegible]分
4 讀賣日ニュース 發聲漫畫 [illegible]分
5 パラマウントニュース 朝日特報ニュース [illegible]分

◆新世界館 晝十二時半上映
1 元祿七化け吉三 午後[illegible]分
2 八社ニュース [illegible]分
3 堀部二等將校 [illegible]分
4 陸の野獸 [illegible]分
忍術大阪城 [illegible]分

◆タイゲキ 晝十二時廿上映
1 奥太吉と若夫婦 午後[illegible]分
2 奇傑パンチヨ [illegible]分
3 東日讀賣ニュース 朝日支那事變ニュース [illegible]分
4 花嫁くらべ [illegible]分

高級 第一タクシー
城内方面ハ電（三）二〇八三 三三七三
御成町 大正町方面ハ電 四四九〇
東門町 幸町方面ハ電 二七〇一
（晝夜無休・親切・迅速・確實）

御願ひ
去二日以來[illegible]
臺灣畜產株式會社
御需用家各位

絹の肌となる
鐘紡の絹石鹸
果然大好評大賣行

惡醉宿醉等の酒害を除く
ミツワ制酸錠

風邪は萬病の基
パンコーはカゼの妙藥
各藥店にあり
發賣元 新原泰生堂

臺日案内
料金 [illegible]
書籍 最近 支那大地圖 [illegible] 臺北榮町一 新高堂書店
醫院 性病科 永吉病院 電話二六五〇番 新起町一
內地土產 檢查濟 桐田の麻豆文旦 臺北榮町 桐田商會
寫眞 カメラ中古品高價買入 臺北市京町二 [illegible]
時計眼鏡 和田はメガネ專門 臺北本局前商銀通り電六[illegible]五〇番
料理屋 料理仕出し 辨金本家 電話五四〇五番
金融 電話金融 商品券 質入 買入 [illegible]旭屋文店
小口金融 返濟 一月拂濟九ケ月月賦 東本願寺前同電六參七一 [illegible]商事社
月賦 定期 金融 若竹町一丁目 七福商事合名會社 電話六一三三二番
小口金融 官公署ノ御方ニ限ル 御用立 西門市場裏バス通中橋 電四九二七
世帶道具 無煙風呂釜 一井商會 臺北市本町二ノ一 電話四七六
雜件 婦人子供 悅ちやん、てんぷる・セーラー型 [illegible]村井
各種靴下 新荷著 新柄靴下婦人組長靴下 村井
風味の良い 平戶の摺味噌
神輿、神棚、佛壇 臺北京町一 [illegible]
運命及姓名判斷 臺北市[illegible]
あか船產制防毒 臺北市新世界前 [illegible]
風呂桶は 山地桶店 臺北市表町一ノ一三 電四六四八番
新軍刀 [illegible]
通信教授 バイオリン尺八 ギター マンドリン ハーモニカ 三味線 [illegible]

キングの大奮發
本日發賣の十月號は
日支事變號
大畫報あり北支上海の實戰談あり命がけ從軍記あり壯烈感激百餘頁の大特輯發表
更に大附錄 支那詳細大地圖 贈呈
大評判 豫約は即刻
[illegible]

御詫びの言葉

今回の防衛團員[illegible]
[illegible]

九月五日

臺南市防衛團員 歐清石

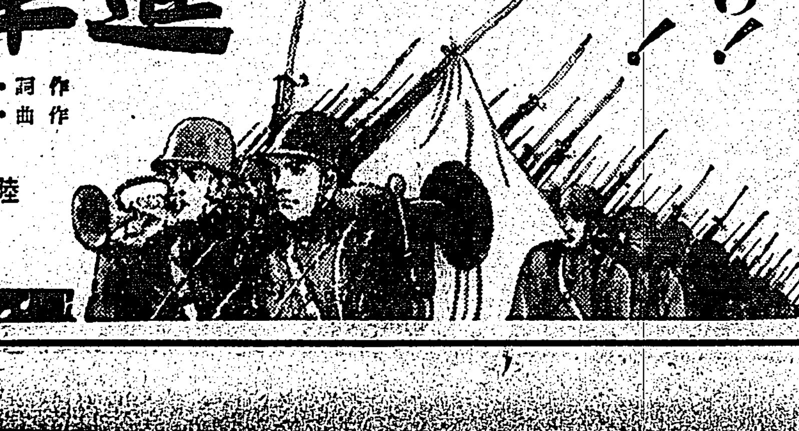
臺南市民各位

小型自動車講習開始
期日 來ル九月十一日ヨリ一週間
詳細ハ規則書送リマス
臺北市表町二ノ二一番地 東洋自動車講習所内（電話六〇八九番）
臺北小型自動車講習會
臺北ダットサンドライヴ倶樂部

榮養召集
暑さに弱つた體のままで二百十日は越せません！榮養の非常召集をする時です。涼しい味のカルピスにたっぷりこもつた榮養ならどんな胃腸も受けつけます
滋强飲料 カルピス

斯界に多大の信用と愛用者を有する
毛髮養料 ベジリン香水
改正定價 大壜 ¥1.65 小壜 ¥1.00 特大壜 ¥3.85
フケ、及びカユミを去り脫毛を防ぎ常に美髪を保つ 全し用後殊に爽快無比也
各百貨店、和洋小間物店、化粧品店、藥店にあり
東京市日本橋區本町三ノ二 本舗 リーガル商會

肺・肋膜・衰弱に（特效）テルミーの食養法
[illegible]


聽け！歌へ！
大阪毎日 東京日日 新聞社懸賞募集當選歌
進軍の歌
作詞 本多信壽 作曲 陸軍戸山學校軍樂隊
指揮 陸軍戸山學校軍樂隊長 岡田國一
露營の歌
作詞 藪内喜一郎 作曲 古關裕而
唄 中野忠晴 松平晃 伊藤久男 霧島昇 佐々木章
Columbia
コロムビアレコード

何が彼等を不良にしたか？（二）

養子にやつたのがぐれ出すもと　然し親の眞心で更生した

一人の老師の役人が來て訴へた話です。『自分には四人の男兒がある。長男は飛行士としてその將來を嘱望されて人氣を得てゐる、二男、三男は皆大學を卒業して、一人は銀行員になり他はある所に勤めてゐる。自分は子供をそれ相當に教育もし、一人前に仕上げることを唯一の樂しみとして、今日まで克己勵勉して來たのですが、問題となるのは四男（二〇）の件です』と語り出したのであります。

× ×

その四男は十七歳の中學在學中相當の財產もある自分の弟が子供がないので、その相續人にする爲養子にやつたのです。ところが弟の習慣、子供を望んだ事も育てた經驗もないので子供に對する理解がない。それで養子となつた四男は、今までと變つて性格がひねくれ出して養家を逃げて戻つて來たのです。それ以來

俺はいらない子供だから他家へやつたのだ

と言ひ出して、非常にひねくれた解釋をする。それで

お父さんの家は相當に財產もあるし、子供がないので相續をさせる者にお前を選んだので、つまりはお前の幸福の為に考へてやつたので、決していらない子だからやつたのではないんだよ

とよく言つてきかしても駄目なのです。

そんなら俺でなくても外に子供は三人もあるではないか、自分を選んだのは自分を嫌つて邪魔にして養子にやつたのだ

といふ風に言ふので全く困つてしまひました。

兄の小遣が自分より多いといつて同じに呉れといふ。兄さんは勤めてゐて交際費もかかるからだといつて聞かせてもなかなかきかない。

子供にヒガミを持たせてはいけないと考へて、仕方なく兄と同樣に小遣をやると、夜遊びはする。麻雀、撞球、カフエーなどを遊びはじめ、たまには外泊もするといつた風になりました。そこで父母は心配して小遣を減したが、その時は既に遲く放蕩を覺えて浪費癖になつてゐて、親から貰ふのみでは滿足せず、親戚友人から借りるだけ借りて愛想をつかされるといふ始末、甚しきは近所の留守宅に忍び込んで搔つ拂ひをするとか、友人の金品を持出したりする樣になりました。はじめ親達はそんな事を知らなかつたが、近所の人が自分達一家に對する態度が違ひ出したので、やつと判つて息子を調べた處が、その時既に澤山の罪を重ねてゐました。

× ×

親達はそれでも、子供の罪を憎まず、かういふ結果になつたのも皆親の罪と思ひ、子供の改心を願つたのですが、彼は反對にその親心を踏みにじつて惡いことをするばかりです。この儘ゆけば、後はどんな人間になるか知れず、ひいては兄達の信用にも關つて一家が人から笑はれる樣になる。彼の行爲が公になれば自分達の一家は全滅する。彼の一家を救ひ三人の兄の名譽を傷つけぬ爲には彼を亡き者としなければならないと固い決心をし温かい親心を鬼として、一日ある海岸に彼を誘ひトツプリ日の暮れた頃、崖頭から彼を突き落し自分も一切の所持品を處理してポケツトに石を入れ、子供の後を追つて投身したのです。

× ×

暗い世界にグン／＼沈んで行きそれから僅かスーツと浮きあがつて來た。息が苦しくなつてもがき出した時、自分は何時しか水面に悶えてゐるのでした。

「お父さんどうした」

といふ声が側にする。先刻突落して死んだと思つた息子が上手に泳ぎながら、沈みかけた父親を救ひ上げたのでした。

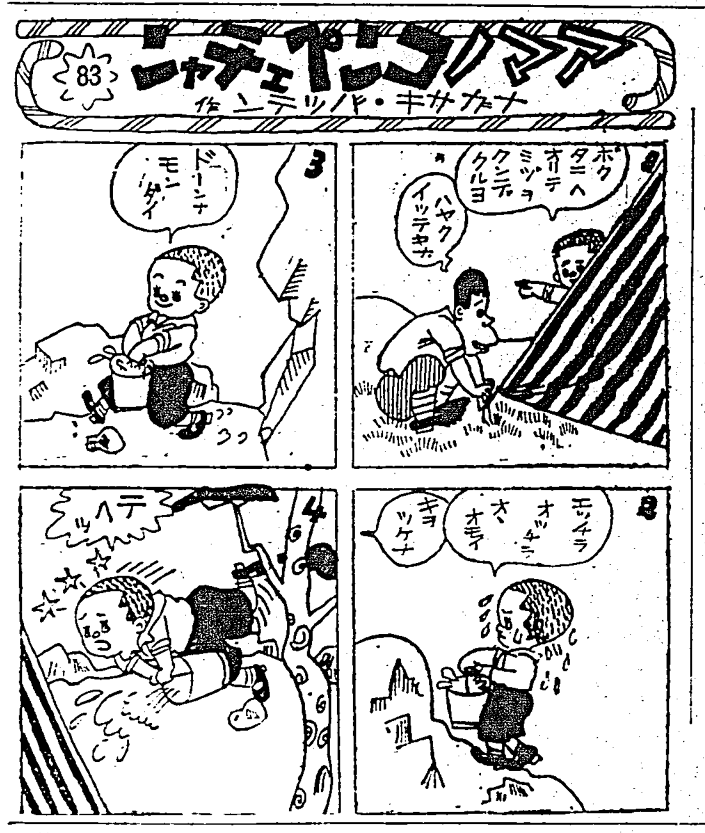
子を殺さうとして却つてその子に救はれ、家へ戻つたのですが、それ以來息子はプツツリ不良の足を洗つて近所でも賞められる程の親孝行になつたといふのです。

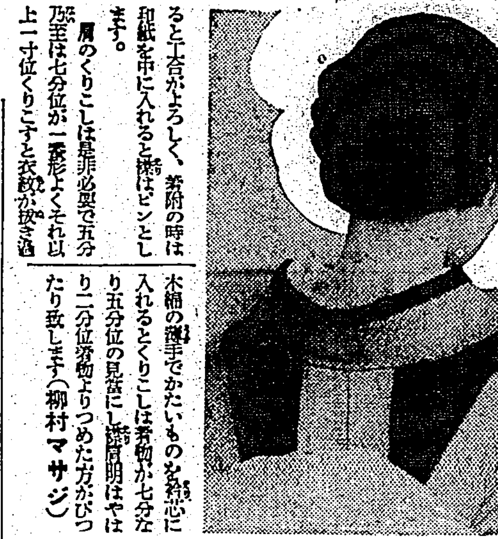
これ等は例の日大生殺しと違つて、親の眞心、親の犠牲的精神によつて子供を更生させたのであります。

御存知ですか

子供の下痢

大人でも同じですが子供の下痢は多く過食過飲によることが多いが、何よりもまづ二十四時間位の飢餓療法を行ふ、これは番茶湯の外何も與へないことで、下痢が止まつたならば重湯、スープ、片栗等の流動食から漸次普通食に移ります、尤も醫者が飢餓療法を不適當とするならその指圖に從ひます。醫師の來るまでカイロやコンニヤクを温めて手拭ひに包んであたためるのはよいが、下痢止を用ひることは醫師の指圖がない限り絶對にいけないので、むしろ、ヒマシ油、浣腸等で腸内を掃除することがよろしく、又サポニン等の緩下劑を用ひると效果があります下痢がはげしく手足の冷える樣な時は、湯タンポを入れ、熱があれば頭を冷やしてやつて下さい


83
アマノコンヤェチャン
作 ナカサキ・ハツテン
1
ボク タニヘ オリテ ミツヲ クンデ クルヨ
ハヤク イッテキナ
2
エッチラ オッチラ サ、オモイ
キヨ ツケナ
3
ドーンナ モン ダイ
4
ツヘテ



著附に大切な襟元の御注意

上品にも下品にも加減一つ

お著附で一番大切なのは、襟元の形と衣紋の拔き加減です。えり元をキチンとするには、襦袢が一番よく、特に肥つてゐる人は衿肩から衿先まで五分位斜にすると工合がよろしく、著附の時は和紙を中に入れると襟はピンとします。

肩のくりこしは是非必要で五分乃至は七分位が一番形よくそれ以上一寸位くりこすと衣紋が拔き過ぎて下品になります。

尚襟元をキチンと形よく見せるにはどうしても長襦袢の衿付と仕立に注意しなければなりませんが長襦袢はつけ衿の方が衿よく三河木綿の薄手でかたいものを衿芯に入れるとくりこしは著物が七分なり五分位の見當にし長襦袢はやはり二分位著物よりつめた方がぴつたり致します（柳村マサジ）

健康相談

肛圍の腫瘍

問　新竹某官衙在所勤務の者で二三年前より肛門の兩側に腫物が出來て惱んで困ります、それは疣痔の樣で、幾回となく腫もかゆいのです、藥をつけ換へたけれども仲々治らないのです恥しい事ですが三年前に遊んだ事があります、それ以來です（新竹州某欽生）

答　文面から想像とられる所では、淋疾患者に屢々併發する尖圭コンヂローム、或は黴毒性の扁平コンヂロームではないかと思はれます、治療は兩者共に局所を清潔に保つと共に、前者は亞鉛華澱粉、デルマトール等を撒布し常に乾燥を保ち、後者は全身黴毒に對する治療を行ふ事に依つて速やかに吸收されます、然し尖圭コンヂローム乃至扁平コンヂロームであるか或はその他の疾患であるかは、簡單な文面丈けの症狀では確言出來ないのでありますから、皮膚花柳病科或は外科の專門醫の診察を受ける事をお奬めします（係）

脱腸と排尿困難

問　今年六つになる男が居りますが、二年前脱腸に罹り六ヶ月後に服藥の關係で治りました、けれども後どうも小便する時には普通の人のやうにすぐには放尿することが出來ず、二三分かかると言ふ調子です、尋ねると膀胱も稍々痛いとの事です、一體これは醫學的にどんな障害があるのでせうか（松山K生）

答　女兒においては稀に脱腸（男子の陰嚢ヘルニヤに相當す）に排尿困難及び之に隨伴する所の膀胱の炎症を見る事がありますが、男子の脱腸と排尿、膀胱の疾患等とは相關的な關係なく、貴下の男さんの病へは、何か他の原因から來た膀胱の疾患ではないかと思はれますから治療に關しては外科のお醫者さんに御相談下さい（係）

時節柄御奬めしたい　チョッペ運動

腹が据り向上の意氣に燃え　姿勢は見違へる程よくなる

國家總動員、銃後の護りをいやが上にも固くせねばならぬ秋ですが、それには精神的統一と心の緊張が一番大切だと思ひます、その為に各自がいろ／＼考へてゐると思はれますが私は永年試みてゐるチョッペ運動なるものを大いに奬めたいのです。

チョッペ運動といふのは直背運動で、つまり背骨を眞つすぐにする運動で、チョクハイが音になつてチョッペイになり更に略されてチョッペとなつたわけです。

（　）

背骨をまつすぐにすると自然にお腹に力が入る、從つて精神が緊張する。腹の出てゐない人に大きな仕事は出來ないのである、腹の据わつた餘裕のある落着ぶりは何事を為すにも必要で、昔からの坐禪といふものもつまりはこの腹を据わらせる、何事にも動じない精神の練磨です。今日でも坐禪を試みる人々がありますが、私のいふチョッペ運動もつまり坐禪と同一の目的の運動です。

さてこのチョッペ運動ですが、先づ大空を仰いで兩手を高く左右に擴げ、握りコブシをこしらへて腕を垂直のまま肘を曲げ勢よく力をこめて兩脇へ下ろすのであります。それを繰返す、上げる時は靜かに、下ろす時は力を入れて急にやる。注意する點は必ずこの時アゴを引いて居なければなりません

（　）

右の樣な體操めいた事を行ふ時だけでなく、私は自分の體を常住坐臥チョッペに保つ樣に氣をつけてゐます。何時でも思ひ出しさへすれば直ぐにチョッペにする、それが習慣になるとボンヤリして居る時でも一人でにチョッペになつて居る樣になる。わかり易く言へば威張つたやうな身ごなしを常にして居ればよいのです、ほんたうに威張るのではなく、イバつた樣な形にするだけでよい。

猫背といはれる背骨の前くぐみは、日本人の通貨かと思はれる位、日本人に多いのですが、これは見苦しいばかりでなく、胸の中の內臟を壓迫して體の為によくありません。

（　）

背骨を眞つ直ぐにしろとは誰でもよく言ふ事ですが、さて曲つた人に言はせると、伸ばさうとしてもさう思ふ樣に伸びるものでないので、これは或る運動を根氣よく續けることによつてよくなるものです。婦人などの猫背は見苦しいものですから、かうしたチョッペ運動式のものをやつて直すことです。

チョッペ（直背）と猫背とどちらがよいでせう、それは駄馬と駿馬の姿勢を見てもすぐわかりませう。人間でも向上の精神に燃えてゐる人は首が背中から生える、悲觀してゐる人は胸に首がついてゐます。

ですから、これを應用すると首を伸ばせば精神も向上するといふ事にもなるわけですから、チョッペ運動を奬める次第です（醫學博士內田孝藏）

これは初耳

かうすれば

紅茶濁らず

一層うまい

お試しあれ

四季を通じて家庭で喜ばれる紅茶も、どうかすると暑い夏の日には歡迎されないやうです、これは夏の日には果汁の利用が多いためでせうが、一方には優良なる紅茶でも夏は色が冴えないといふことに原因があるやうです、夏の間は一日分を朝の涼しい時に作つて、冷して置くために、時間を經つに從つて色が濁つて來るのです

この濁りを防ぐ方法としては、お番茶の焙うじたものを紅茶と半々にして用ひますと、色もずつと冴え時間が經つても濁らずに味も美味のものを樂しむことが出來ます、しかも頗る經濟的に上りますから、是非今夏はお番茶利用の紅茶を清涼飲料としてお用ひ下さい

□

そこで作り方をおしらせしませう

□

分量（五人分）紅茶茶匙山盛一杯、ほうじ茶同一茶匙一杯、プレーンシロップ五〇瓦（一人分茶匙二杯）水八百瓦（四合）レモン輪切（五切）

入れ方

先づ分量のお湯が煮立ちましたところへ紅茶とほうじ茶の混ぜたものを入れ、直ぐに火を止め、蓋をして二、三分間その儘にして置きます、これを茶漉しで漉して冷まして置きます、シロップは水一合に對し白ザラメ百瓦を加へて煮たものです、これを冷ました紅茶に加へてまぜ、よく冷ましたらコップに注いで氷を二、三片浮かべ、レモンの薄い輪切りを一片添へますレモンの代用に夏蜜柑の汁でも結構です

□

コーヒーでも紅茶でも、お砂糖（角砂糖でも同じ）をいきなり入れますのと、シロップにして入れますのとでは、舌觸が非常に違ふものです、こんな一寸の手間でお砂糖のあくが拔け、味がぐつと冴えます

□

なほレモンの輪切りを浮かせないで、ブランデーか、ウヰスキーを二、三滴落した紅茶も夏の日には涼味を增すものです

玩具めぐり　坊ちやんの撒水車、暑さの折からお子さんたちに喜ばれることでせう

昭和丁丑　非常時　薫風帖（下）

石上三年　錄

須磨　關谷眞柯彌

涼しさはここを通にせむ波のむた月をよせくる須磨の浦風

臺北　山下　成一

風鈴の縁日なれぬ暑さかな

神戸　富田　政輝

汐あみの盛りなるかな須磨の浦かぜなき海に人波のたつ

友　枝

搭ひし非常時ありて濱おもと今年の夏は花咲きにけり

定　藤

濱木綿のはつ花咲けり樞おきし人し在さばいかにうれしも

近　助

濱木綿の初花に寄せ亡き祖父おもふみこころゆかしくて誦す

◇

いとけなく母を亡くせしわが身には思ひ出もたく泌し一生

瑞　子

君が庭の濱生濱木綿花さくと聞くさへ涼しき此のころ

◇

水やりてたのしみましし人まさでにほふ濱木綿淋しと思はむ

臺北　角　保太郎

年毎に花咲き更ふる濱木綿をながめて盡きぬ君が言の葉

金澤　渡邊とよ子

おもひでのたねとなるらむ母まししし世に おひいでしはまゆふの花

東京代代木　山本　錦子

濱木綿の花をながめてなき母を偲びます君こころあはれさ

名古屋　長谷部親弘

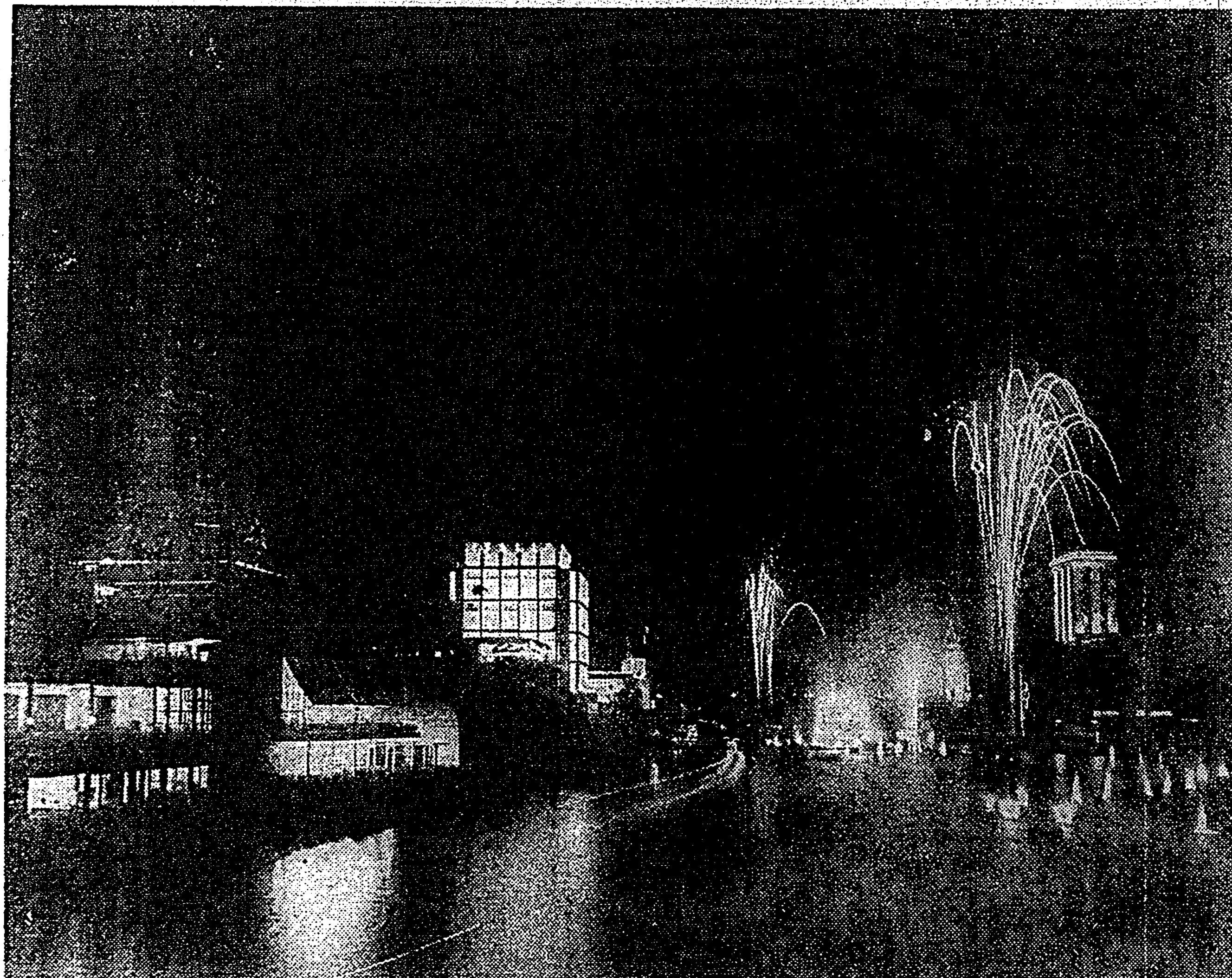
濱生より四年をすぎて花咲きし濱木綿を見つつ君は笑ますか

◇

なき母を偲ひうかべて濱木綿に水やりますか朝夕に

碓井　田口兜之助

たねまきてなでておほし濱木綿の初花いかに愛でいます鄒平



美しきセーヌ河

暗き夜空に燃えて散る、花火よ、あはれ夏の夜の、パリジエンヌに似たるかな。セーヌの流れ、靜かにて、遊子の心をいたましむ。（[illegible]）

雜誌紹介

▲講談倶樂部（臨時增刊號）全部讀切で現狂櫻井兒少尉（京山若丸）花吹雪お靜禮三（川口松太郎）現生（加藤武雄）武運天晴運（大倉桃郎）暴風雨の夜と愛情（渡原六朗）曲馬團の娘（濱本浩）戀のオランダ人形（明石鐵也）牛づれ馬づれ（佐々木邦）明月長脇差（村松梢風）三等特宝の母（竹田敏彦）因縁刺青（原惣）蛇苺（村上浪六）男盃京變（角田喜巳）本牧の女（戸川貞雄）近江文次（一龍齋貞山）心中奈良屋（神田ろ山）大盜三つ巴（岡田東魚）淵深武士道（松本英一）金平下田の別れ（長谷川伸）冷乃月與鉛（三上於兎吉）その他を收め別に妖艶怪奇實話集として赤裸殺し（塚崎直義）幽靈と組打（平山蘆江）幻のオートバイ（志賀康一）呪の家に憑ふ女（梅原北游）を特輯してゐる（〇・六五・東京・小石川・音羽町三ノ一九大日本雄辯會講談社）

▲同盟旬報（第五號）第七十一回帝國議會政府政策發現に邁進、暴利取締令公布、兩北公約締定、不干涉協奏らる、米ソ通商協定成立、北支事變ニュースとして、汪兆銘抗敵聲明、支那全國國防會議、冀察政府解散決議、呉星北平入城、通州保安隊叛亂、二十九軍出動、大山中尉射殺事件、その他がある（〇・二五・東京・銀座西七ノ一同盟通信社）

胃腸　最强力　消化機能增進劑　柏木（カシワギ）ヂアスターゼ

食慾不振、過食過飲、消化不良に因する胃腸諸疾患に缺くべからざる

本品の特長は多種多樣の消化酵素を併有するを以て食慾亢進、榮養補給の目的を達成す。主に慢性病者、重病恢復期等の榮養の促進を必要とする場合最適せる强力消化機能增進劑なり。

（粉末及び服用至便の錠劑あり）

發賣元　株式會社　日本藥品洋行　大阪市東區伏見町二丁目

東京代理店　株式會社　田邊元三郎商店　東京市日本橋區本町二丁目

安産のために　ワダカルシューム錠

姙娠から安産

大阪帝大醫學部教授片瀬淡博士は實に、姙婦保健の爲に眞摯な研究實驗を續けられた結果カルシューム服用が安産せしむる確證を得られた事は既に過去の事實であつて此の科學的眞理の光彩をはなつたのであります。カルシューム攝取は啻に姙娠及び授乳期を無事に經過せしめ、發育佳良の乳兒を得、且つ其肥立を良好ならしめるのみならず、此の期間に好んで偶發する母子體の諸種の疾病を未然に豫防することは、內外幾多の文獻に徵して頗る明瞭であつてヂツベルト、ザイツ、マルチノウスキー、片瀬博士等々枚擧に遑なき實驗報告こそは、カルシュームの姙婦保護、胎兒發育の性能を發揮せしむる左證であります。

楢林醫學博士　推奬　片瀬醫學博士　鑑査

片瀬醫學博士述「安産のために」冊子呈上

發賣元　和田卯助商店　大阪道修町

國定忠次（46）

（禁上演映）

——長谷川伸作
岩田專太郎畫

身投げ（二）

利根川を境にして、向かうは上州佐位郡島村、こつちは兒玉郡仁手村。その仁手村の堤で、人待ち顔のならず者風の、二十七八の男がある。

夏の日の暮れ方は、その一日中の暑さの名殘りを空にみせ、燃えてゐるやうに入り日が赤い。

「もしもし、忠次郎さん、濟みませんが、ちよいとどうか」

團扇片手に、浴衣の片袖くるりと捲くり、夕涼みか、これから何處かの賭場通ひか、それとも夜釣りと見せかけて舟を出し、堤あたりまで來のして、自分の話ひを喚くつもりか、ぶらりと土手へあがつてきた忠次郎のうしろから、小腰を屈め聲をかけた。

敵に見とられてはゐないだらうか、伊三郎を狙つてゐる忠次郎、さすが油斷なく

「だれだ？、お前」

「あにいがご存じの筈はねえ、吹けば飛ぶやうな吝な男で、仁助といふ者で」

「何處の仁助さんだ？」

「小此木の生れです」

小此木は島村に接した土地である。

「小此木の仁助さん？、俺は名を聞いたこともねえがね」

「ご尤もでございます、忠次郎あにいを男と見込んで後生一生のお願ひがあるんですが、一ッ、お手間はとらせません、お聞きなすつては下さいませんか」

「仁助さん。何のことだか知らねえが、男と見込んでなんて云はれた以上、俺は二十三や四の若僧だが、後生一生のお願ひが一分貸せ二分貸せだなら知らねえこと、たいした事なら、俺ではとても背負ひ切れねえから聞かせても無駄だから止しにしてくれ」

「さう仰有るのは重々ご尤もです、どこの馬の骨だか知れねえ仁助が何をいつても本當にはなさるめえ無理のねえことだ。じや忠次あにい何もいはず引下ります」

「さうかい、じやさうしてくれ」

「ご免ください」

下を向いて歩き出した仁助が、洟をすすつたらしい音がした、で若い忠次郎は、ふと釣りこまれ、

「ちよいと待ちねえ」

「どうか止めねえで下さい」

「話を聞かう、と、云つた處で、必ず引受けるとは限らねえ、出來ねえことははつきりと、俺にや駄目だといふが、それでよければ話しねえ」

「斷られても話を聞いていただければ、この世に未練は、いえ何、この世に折角生れてきたが俺にや運がねえんだと斷念めます。實は——墻に耳ありとかいひますが、こんな處でいいでせうかねえ」

「あつちの方に、洗ひものをしてゐる人が三四人ゐる他には、川を下る舟の中に人がゐるだけだ。何だい。そんなにびく／＼してゐる話といふのは」

「他でもございませんが——ねえ忠次あにい、お前さんは川向かふの伊三郎親分のお身内ですか」

「俺は島村さんの杯ッ子じやねえ」

「確かにさうですね」

「厭に念を押すんだな」

「實は——止しませう。折角でしたが、お話をやめにします」

「どうして？」

「縁もゆかりもねえ忠次あにいに飛んだ箆棒へ金を使はせる事になりますから、止めます」

「さういふ話か」

「へえ」

「じやあ、島村の伊三郎親分に良くねえ事なんだな」

「だから、止めに致します」

「さうか、伊三郎親分のことか。仁助さん、他の事なら兎に角、島村の親分のことなら、いい話なら良いが惡いことなら俺は聞きたくねえ」

「矢ッぱりさうでご座いましたか」

「仁助さん、厭なことをいふのはよしてくれ、俺は怒りやしねえが矢ッぱりさうかは、厭な文句だ」

「相濟みません。語らねえことで飛んだお手間をとらせました、ですがね忠次あにい、何處へ行つても威勢のいいものに敵ひませんね、兎角、浮世は強い者が勝だ、ご繁昌なさい」

來て惡評の終りの方が、いかにも抛り出したやうで、自棄になつてゐるのが歴々してゐる。

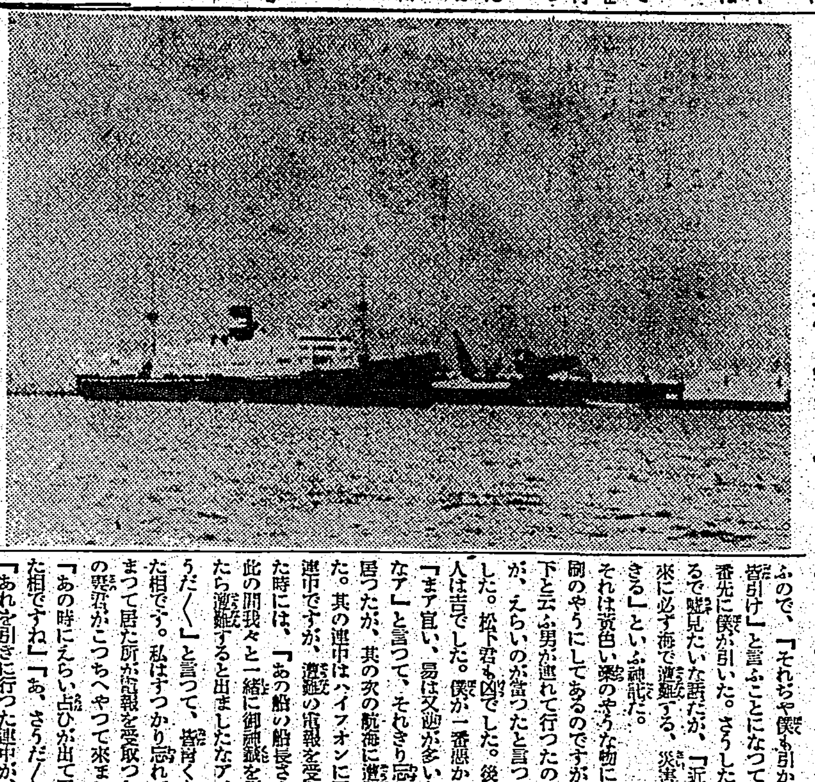
カナ文字ニュース

△ワガ海軍ノ 支那船舶ニ タイスル 交通シヤダンハ 五日カラ 北ハ 秦皇島、南ハ 廣東省ノ 北海 マデ ノ 支那海岸ゼンブニ 擴大 サレマシタ

△ワガ軍艦ハ 航空部隊 トトモニ 四日 汕頭ノ 南方ニ アル 汕尾、媽宮ヲ コウゲキ シテ 大ソンガイ ヲ アタヘ マシタ

船緣起のいろ／＼
鶴鷹出産は吉い
科學萬能の一反面

本社主催 海の座談會（11）



永井 昔、よく船の關係の方は非常に迷信家だつたと云ひますが、今何か船の中に迷信と云ふものはありますか、高級船員の方では相當あるのぢやありませぬか

天 昔はあつたでせうね、例へば鼬鼠を跨むとどうとかするとか黒い猫をどうとか云ひますが、今迷信は餘りありませぬね

永井 下級船員の中にはありませぬか

天 さう云ふことはないですね、古い迷信も今は人が忘れてしまつて居るのか知れませぬが

宮入 迷信は全くなくなると云ふことはない、多少殘つて居ると云ふことは、兎に角國體上でもありますからね、或人を呪ふと云ふ時に丑の刻詣りとか云ふ事をやる要するに精神の統一が、物質に結び付くと云ふ訳ですが、ある人の足を惡くするのには其人の繪の足に釘を打つてやるとか昔はよく足の形を畫いて其處へ五寸釘を打つて神様に上げるさう云ふことが自然と、何となく其の人に聞える分つたとすると、其の人は自然に精神的に矢張り動搖して病むかも知れない。斯う云ふことも實際あるにはある。それから例へば人を追出すには箒を立てるとか云ひますが、斯う云ふものも何か縁が打つつかつて人を出す訳ぢやないのか或は箒を立てた信念が其の人に通ずるとか云ふやうなことがある。何此の頃私共もそんな馬鹿なことは聞きませぬが昔は鳥の鳴聲が惡いと云ふことを言ふ。鳥の鳴き聲が惡かつたが、翌日親戚の者が亡くなつたと云ふことが偶然にあることがある。それからよく近親の亡くなる前に戸を叩いたと云ふ話がある。夜中に起きて戸を開けて見ると、誰も來て居ないどうもをかしい、又寢床へ入つて寢ると又戸を叩く、出て見ると矢張り誰も居ない。斯う云ふやうなことで其の翌日になつたら近親が亡くなつたと言つて來たと云ふやうなことがある。斯う云ふことも無くしてしまふと云ふ訳に行かないと思ひます

永井 海の方でさう云ふやうなことが何かありませぬか

宮入 それは海の方でもさう云ふ感情を持つて居る者もあるでせうね

荒木 私は、自分ぢや迷信がない

山崎 迷信と一寸違ひますが易ですね。當るも八卦、當らぬも八卦と云ふ奴です。船の連中は門司あたりで能く易者に觀て貰つて居ます。私は一向あの方には沒交渉ですが、丁度私が此の間遭難する前に、ハノイと云ふ所がございますね。神風號がハノイへ來た時ハイフオンと云ふ所からあちらの人に見物に連れて行つて貰つたのですが、ハノイに神籤を引く寺があります。そこで神籤を引くと能く當る相です。それであちらの人が「船長此の神籤はよく當るから引け」と言ふ。僕は易は大嫌ひだが、さう言はずに一つ引けと言ふので、「それぢや僕も引かう、籤引け」と言ふことになつて、一番先に僕が引いた。さうしたらまるで噓見たいな話だが、「近き將來に必ず海で遭難する、災害が起きる」といふ神託だ。それは黄色い紙のやうな物に石版刷のやうにしてあるのですが、松下と云ふ男が連れて行つたのですが、えらいのが當つたと言つてました。松下君も凶でした。後の二人は吉でした。僕が一番惡かつた。「まア宜い、易は又逆が多いからなア」と言つて、それきり忘れて居つたが、其の次の航海に遭難した。其の連中はハイフオンに居る連中ですが、遭難の電報を受取つた時には、「あの船の船長さんは此の間我々と一緒に御神籤を引いたら遭難すると出ましたなア、さうだ／＼」と言つて、皆青くなつた相です。私はすつかり忘れてしまつて居た所が電報を受取つた人の懸念がこつちへやつて來まして「あの時にえらい占ひが出て居つた相ですね」「あ、さうだ／＼」「あれを引きに行つた連中が、遭難の電報を受取つて皆驚きましたよ」「あゝ、さうだつたなア」と思ひ出してゾッとしました。よく當るものだなアと思ひましたね

永井 外國人の船員に迷信はありませぬか

山崎 日本人より多いと言ひますね、眞實は知りませぬが、相當迷信はある相ですね

永井 船乘の方の御守りはどう云ふ物ですか

山崎 大概持つて居るやうですね、何か彼か

荒木 私は持つて居りませぬ

永井 船には神様は祀つてありますか

色部 鹿島神社を祀つてゐます

荒木 赤城丸には赤城神社があるんです、白山にはありませぬが

私は神様に御詣りするならばお宮へ行かなければならぬと思ふ。船へ神様を祀るのは勿體ないと思ふ。神様を拜むには出向いて行かなければならぬと思ふ。部屋に祀りますと神様の前で餘り粗末になる事も出來ない訳だし、私は部屋に居る間は別の所へお移ししてゐます

宮入 大概の船には祀つてありますね、詰り端的に言へば船に祀れば安心が出來ると云ふ訳ですね

永井 昔は非常に多かつたらしいのですね、極く古代は大抵海の關係の神様だけですね

山崎 御守りを持つて居る人は多いですね、私はああ云ふものを持つのは嫌ひでしたけれども、本門佛立講と云ふ宗教がありますね、あれに凝りましたことがあります。御守りを貰ひましたが、その因縁は先年菊水丸と云ふのがありましたね、あれの機關長が佛立講の御守りを懷ろに入れて居つた、難破して船長も皆な死んだが、機關長だけは偶然木板が流れて來て、それに摑まつて命が助かつたと云ふのです、其機關長から直接聽いた話で御守りの御蔭だと云ふので、御前も持つて居つたら宜いと云ふやうなことを言ひましたので持つてゐます、まあさう云ふ風に可成り持つて居りますよ

荒木 私共矢張り科學万能ぢやないんです、持つて居るものを貶しはしませぬ、之を可笑しいと貶してはいけませぬ

永井 外國人は御守りを持つて居りますか

荒木 持つてない樣です、神様は一ッしかないと云ふ觀念ですからね、ローマン・カトリックには偶像が入つて居りまして、マリアの像なんかあります

山崎 南米へ行くと獨逸で拵へたものがありますが、あれは魔除けと云つてよく持つて居ります

荒木 十四、五年やつて居る古い西洋人の船長が、部屋を出る時分に左足が出たらいかぬと云ふ事を言つてゐました、船室を出てブリッヂへ上つて操船しようと云ふ場合に、左足が一寸出たら元へ戻して右足から出直す、是は本當に信じて居るんですな、英國のダンスを見ると男は右から出て來ますね、日本は左ですな、西洋では左から出ると縁起が惡いと云ふ、右大臣、左大臣は向つて右が偉いのです

色部 婦人は左手を出すといかぬのです

荒木 左は不淨に使ふと云ふ訳ですね

永井 怪異の話はそれ位のものにして置きまして、船の中で縁起を擔がれることです、船で出産があると赤飯を炊いて祝ふとか云ふことですが……

荒木 私は一遍も經驗がない

宮入 よくある例を言へば鷹でもマストへ止つたと云ふことは目出度いことにしてあります、我々で一番目出度いのはボーナスを餘計與れたと云ふ電信でも來た時ですね、船でも特に電信電話で判りますからね、今度はボーナスが何ヶ月だと云ふと、此奴は一番お目出度い

山崎 出産はお目出度いので船長が名附親で命名附けの方で費用を持ちます

荒木 ある貨物船でお客の話ですが、ある女の人がその貨物船に乘つた、さうするとその女のお客が産氣づいたが、男ばかりでやり手でないので取上げをやつたと云ふ船員がありますがね

山崎 南米船で移民を積んで行くと四人も五人もあります。しよつちゆうです。一日か三日續くことがありますがね。赤道を通過して百八十度の子午線を通過すると云ふ時は祝ひますね

色部 お正月は内地の延長だから、船でもお祝ひします、矢張り航海中にお雜煮をやりますが、老齡の船長が初日を一つ搗くには相當汗を掻いて居ります。其の後は腕ッこきの自慢の者が出て來てポンポンやります。お正月はお客さんが乘つて居らなくとも、一堂へ集りましてお祝ひします、船に乘つて居つても四大節と言ひますかお祝ひしますしお正月は國に居ると同じ樣な氣分を持つてお祝ひします、注連も飾つたりします

山崎 郵船會社の船で田中さんの船で丹頂の鶴が舞込んだことがありましたね

荒木 私の經驗では台灣海峽で鶴が舞込んじやつた。丹頂と云ふ本當の鶴はシベリアのものですが、途に迷つたんでせうが、是は非常に目出度いんです。所が捕へることが出來ない。下手をすると眼を突かれる、それでどうしてやつたと云ふと、コックがやつた樣ですが、米を洗ふ時分の大きな籠があつたので、スポッと後ろから被せました。さうして生捕つた。是は社長にでも進上しようと思つて、神戸で揚げれば宜かつたんですけれども、金を掛けない樣に横濱まで持つて行つた。それで惜しい事に死なしてしまひました。剥製にしましたが、腹工合がむづかしい樣ですな。鶴に食はすものがむづかしい。神戸へ着いた時、泥鰌を買つてやれば良かつたんですが自仁されの所に今それがあります

色部 紅海を航海した時代にペリカンを捕へたことがありました。霧岡ブリユー・アベニン山を望みながら航行して居ると、大きな鵜鶘で止つて居るんですよ、一向逃げようとしない、最初は遠くでそのままにして見て居つたのですが、一つ喧嘩になつたら生捕らうと言ふ事になりました、けれども腕が鳴つて待ち切れぬ、火夫が一人匍ひ出しまして、四ッ匍ひソロソロ匍つて接近して矢庭に首つ玉へ噛り附いた、そして首尾よくデツキに引張り込んで生捕りにしたんです

荒木 あれはフロリダ辺にも居るでせう

色部 濠洲には澤山居ります

荒木 濠洲では捕つていけない事になつて居ります。でその生捕のペリカンは食ッちやつたやうに思ひます

荒木 鵜は仲々旨いですよ

夕涼芝居噺（二）
伊勢音頭、戀寢劔、樽屋おせん

中山楠雄

寛政八年五月四日の夜、九ッも半を過ぎた頃のことである。伊勢古市の料理茶屋油屋徳右衛門方へ宇治浦田町の醫者で孫福齋といふ人物が上つて、馴染の女お紺といふ當時十六歳の者を相手にして飲酒してゐた。

ところへ、阿波の藍玉を商として居る岩次郎といふ男と、孫三郎といふ二人が芝居踊りに立ち寄つて二階でお岸といふ女やお鹿などといふのと大騒ぎの酒盛りを始めた。そこでお紺もその一座に呼ばれて行つて騒いでゐると、孫福ドクトルが大變氣嫌を惡くして歸るといひ出した。それで浚口迄出てお万といふ者に斬つけ、荷任荒れ狂つて手當り次第に大勢を斬つけ結局即死したものが二人、負傷したものが七人、合せて九人斬といふ大慘事、つまり今日だと早速號外を賑はす大事件を引き起したのである、いはばこれは酒の悲劇であるが、これが皆知お馴染のお紺貢、伊勢音頭戀寢劔といふ狂言の實説であつて孫福ドクトルは常から非常に酒亂の男であつたといふのが落ちである。

◇

朝刊にも夕刊にも、さうしたものは無かつたが、この伊勢古市の九人斬りは、忽ち早飛脚に依つて大阪に傳はつた。

角の芝居の立作者であつた近松徳叟といふ坊さん上りの作者が、それよとばかりに僅か三日間で恰度今日の際物の狂言が一と晩で出來上るのと同樣に、すつかり書き上げたのがこの『伊勢音頭戀寢劔』であつた。

七月二十五日を初日に上演したが、さア當つた／＼これは際物の脚色が江戸では一切禁じられてあつたが、京阪では大近松以來許容されてゐたためで、忽ち作者徳叟の名前は一流の名をほしい儘にしたのである。

×

ところで、伊勢音頭の實説は以上の如くで特に後は取り立てていふものはないが、ただこの有名な夏狂言の主人公である福岡貢といふ役は大變至難な役であることを申添へておきたい。

今日では先づ市村羽左衛門といふ極付きがあるが、この貢の藝の系統を調べると一寸面白い。即ち三代目彦三郎がこの貢の役を大いに工夫し、後三代目粂五郎がこの藝を受け繼ぎ、そして四代目彦三郎に至り、途に五代目粂五郎の水際立つた貢で完成を遂げたのであつた、つまり何が至難であるかと云ふと、この貢といふ役は純粹の濡れ事ではないし、又荒事ではなく、いはば一種の強い味を底に堪へた和事師なので、これを俗にピントコナといふて芝居道役分けでは一種特別な性根とされてゐるのである。

×

白がすりのすつきりした姿が、あの縁切りから次第に亂れて、途に背水下坂を飲つての十人斬の水もしたたる殺陣は、夏狂言といへば一番最初に思ひ出される名作の一つであらう。

夏狂言は怪談物は江戸の專賣だが、世話物といへば殆どかういふ風に上方物が多いのも作者にいいのがゐた所爲であらうか。

享和元年九月大阪中座で初演された『名作切籠曙』といふ狂言は、近頃餘り上演されないものだから、一寸その梗概に觸れてみようか。

作者は前述の伊勢音頭の作者、近松徳叟である事も不思議に夏狂言作者としての因縁が感じられる

◇

高槻家の若侍里見伊助は、若殿と樽屋の娘おせんを取り持つて契りを交されたが途にその胤を宿して里親に歸る。しかし若殿には許嫁があるので、おせんは心配してゐると家老が盆の十五日に側室として迎へたいといつてくるので、嬉しくなり、身仕度をしてゐるところへ、常に忠實に仕へた伊助が來て無態の横戀慕をする。これを危く斂けられて、折柄小宮踊に盆踊りのあるところから、町娘としての名殘りに大勢の踊り子達の輪に入つて踊る。

その中へ突然伊助が白刃を持つて現れ、おせんを捕へ、實は若殿との契りは兄弟の密生道であつたから、家老はおせんの命を取るべく來た故、仲に入つた伊助はまことに面目ないから、どうかこの場を立退いてくれと、伊助はおせんに説得するのだが、總に盲目となつたおせんは、これをいつかな信用しないので、伊助は涙を呑んでおせんを手に掛け、己もその場に切腹する。

盆踊りの男女の姿も次第に減つて、あとにはほのかな切子燈籠の灯影がボンヤリと、ともつてゐるといふ。これも夏狂言らしい名作の一つである。

樽屋おせんとはいつても、西鶴の説に據れば寛政年間播州高坂の城下にあつた樽屋の娘である。

◇

もう一つ盲兵助と狂言もいふ夏餘り知られてゐない狂言で、先年實川延若が、六代目と共に歌舞伎座に上演した以外、昨年文樂座の津太夫が演じた位で、これも一寸珍らしい夏狂言である。

お夏清十郎の世界に喧嘩屋五郎右衛門と朝比奈藤兵衛の出入りを加へ、これに盲の兵助が絡むといふなか／＼の名作で、中でも八ッ目の天王寺村の場で、義の朝比奈と盲の兵助の兄弟が因果にも話が通ぜず、途に金故で弟を殺すといふ場は、夏の物淒い夕立やら雷やらで如何にも涼しい舞臺が用意されてあつて、名作らしい繪畫類を見せる一幕である。

◇

そして先刻御承知の夏祭浪花鑑あらい格子の團七縞といひ、美しい次の使ふ大きな浪團扇、そして長町裏の夕顔の垣根、裏を通る祭の囃子、さうしたかづ／＼の季節趣味的なそれ／＼が、こよなく夏らしい風情、詩となつて我その胸を打つ。

里見伊助が國家の落ち役であり盲兵三家來政川が先代以助の當り役、そしてこの團七が片岡家の家の藝であることを思ふ時、不思議に夏の世話物は、京阪の役者の當り藝が多い。

勿論怪談物は殆ど全部江戸の役者に依つて幾多の名作を殘してゐるが、かうした純粹な世話物が、京阪の役者の當り藝であることは一寸面白いことである。

夕涼みに持出された縁臺で、古老の芝居噺は限り無く續くが、一と先づこの辺でくぎりをつけよう（完）

武人の魂
日本刀の手入れ

日支の風雲急を告げ、いまこそ祖先傳來の名刀が役立つ時です、この場に臨んで勿論、〝武人の魂〟たる刀劍に錆や、汚點などはあらう筈はありませんが、刀劍の手入れ法について念のためお話しいたしませう

◇　◇

先づ何より大切なことは鋼で作つた刀であれば油が必要です、油を塗ることを怠つてはいけません

これは寸時も絶やさず含ませておかねばなりません、この油は刀劍用の丁字油が好適ですが、婦人の毛髪用の椿油でも結構です

油は常に含ませておく必要がありますが決して必要以上の油は禁物です、[illegible]

拭きとつたやうでも、水分がいくらかあるものですから、その水分のある間はなるべく回數を多くします、さう致しませんと錆が出やすいものです

◇　◇

何故寸時も刀劍の手入れに油斷があつてはいけないのかと、申しますと、刀身に油を塗つたまま永い間しまつて置きますと油が蒸發してしまつたり、或は油が固つて刀身に粘りついたりします、この蒸發したものが錆となり、粘りついたものが丁度同樣刀身に汚點を生ずるのです

◇

[illegible]と申しましたが、この時期は梅雨期と土用明けの二つ[illegible]な日を選ぶことが大切です、それで丁度今が時期です、手入れをするその日には室内の空氣の流通をよくすることが必要であつて、室内に湯氣の立つやうなものは持込まぬことです

◇　◇

さて愈々古い油を除き去り、新しい油を塗るところのつまり刀劍の新陳代謝ですが、この方法は、吉野紙を半分に切り、それを幾重にも折るか、又は脱脂綿その他、刀身に錆のつかぬやうな材質の軟いものに油を浸して、刃の下から上に向つて塗ります、決して上から下へ塗つてはいけません、この場合一度に多量の油を塗るやうなことはせずに、出來るだけうすく塗り回數を多くすることです、また下から上へ塗つて、このまた上から下へ塗るといふやうなことも絶對に避けるべきことです

◇　◇

次に刀劍手入れにつきものの打粉のことですが、どうかすると打粉を使用する方がありますが、これは大きな間違ひです、つまり打粉は刀身に塗つた油を除り去る場合とか、或は刀身に錆りの出た時にそれを除るために使用するものであつて、錆止めには何の効果もないのです、そこで古い油を除き取り、新しい油を塗り替へる場合でも打粉はさけて、新しい油を塗る方がよく、油汚點が出來た場合には、四、五回とか、また油があまり古くなつてゐる場合には、打粉は一度つけて、前と同樣に吉野紙で拭ひ取り、それでも不充分な時は、アルコールを脱脂綿に含ませて、よく拭きとるに越したことはありません

◇　◇

それから、刀身の手入れに際してよく〝中心〟の錆をとる方も見受けますが、これは絶對に禁物で、そのために刀工の銘を失ふ場合さへあり、その刀劍の價値を無にする事にさへなります、この柄の[illegible]つてゐる即ち刀工の銘の刻まれてゐる中心は刀身同樣に刀劍の生命といふ

ニュース映畫の
誕生は四十年前
戰爭はこれを發達させる

今回の日支事變の進展に伴つて話題を提供するものに、ニュース映畫の擡頭進出がある。

×　×

そもそもニュース映畫なるものは、昨今の新しい企ての如くに想つてゐる向もある樣に察せられるが、實はさにあらずで、すでに四十年の歴史を閲してゐる次第である、映畫の發祥は今日のいはゆる映畫劇にその因を發するわけのものではなく「かういふ光景を動く寫眞として傳へることが出來たらおもしろからう」といふ點が、映畫の發明を促したものと見ることが出來る。

×　×

今から四十年の昔、米國に「ヴアイタスコープ」が現はれ、殆ど同時にフランスに「シネマトグラフ」が現はれ、共に、寫眞界に一新紀元を劃したわけであるが、ニュース映畫は、その新發明發表と同時に五十呎のフヰルムとなつて出現したわけである。

×　×

試みに、往年フヰルム目錄を一覽するならば、ニュース映畫の存在がはつきりと指摘出來るのである、例へば

△李鴻章のニューヨーク出發
△巨艦セントルイスの航行
△ロシヤ皇帝戴冠式
△エヂソン電氣工場前に於ける撒水電車の疾走（當時電車は新時代の新機械であつた）

等々、何れもヴアイタスコープに依つて紹介されたニュース映畫であつた。

×　×

フランスに於けるシネマトグラフも、勿論ニュース映畫にその發祥の端を開くわけであるが、元來米國ほどに新聞的でないだけに、多くパリを中心とするスケッチもしくは、動物園、植物園、海水浴場等の情緒本位のものが多かつたことは、文學美術の國としてどうも仕方がなかつたやうである。

その後、映畫の進歩發達に伴つて映畫が興行物となり、興行物としては、この方が儲かるので漸次歐米の映畫會社は映畫劇に向つて主力をそそぐやうになつたが、しかし映畫に依るニュースの紹介は、決して人氣がないわけではなく、また、會社が嫌つたわけでもない、適當に編輯されたものであればその價値が認められたのである。

×　×

從つて週報、旬報、月報と稱すべきものが組立つて出現して來たのである——といふと、如何にも耳新しいことのやうに想はれるが、これを業界の年代記から一瞥すればその由來する所ぶに久しいものがある、その一例を擧げて見れば……

△一九〇七年……パテージャーナル（これはパリのパテーフレール會社で編輯したニュース映畫）
△同年……パテー・ウヰークリー（パ社米國支店編輯）
△一九一一年……ヴアイタグラフ（月報・米國エヂソン製作）
△一九一二年——ゴーモン・グラフヰック（フランスゴーモン會社編輯）
△一九一四年……ハーストのニュース（米國新聞王ハースト編輯）

×　×

かうして見ると、ニュース映畫の發展史もなか／＼古いものであるが、ここに、ニュース映畫については、二つの見解が下されるわけである、その一つは新時代の新事物の出現、もしくは奇聞珍聞に關するものを蒐集したもの、他の一つは時事問題をキャッチしたもの（この時事問題にも内國的のものと外國的のものとがあることは勿論である）今回の支那事變ニュース映畫の如きは、時事映畫として役者に屬する

さて、わが國にかけるニュース映畫としては、河浦謙一氏經營の新橋吉澤商店が、明治三十三年同商店が大相撲寫眞を撮影し、梅ケ谷、常陸山の取組を全國的に紹介したことは今なほ吾人の記錄に殘るところである、また、映畫業界のパイロットとさへ呼ばれた駒田好洋氏が、銀座通り、日本橋、淺草仲見世などのスケッチ映畫を紹介したのは、その前年明治三十二年のことであつたが、これはフランスのシネマトグラフのニュース映畫を模したものと思はれる

×　×

北清事變に際しては、當時三越呉服店寫眞部の柴田技師が從軍撮影し、ここに戰爭物のニュース映畫が現はれて來たわけである、日露戰爭に際しては、東洋のパテーを以つて任ずるMパテー梅屋庄吉氏の撮影隊が海に陸に全戰線に向つて活躍したものである、また先年、岡本洋行が發賣した『旅順開城』の映畫は昔はニュース映畫であつたが今日としては相當價値ある記錄映畫として話題に上る、なほ日露戰爭の當時、米國婦人が偶然撮影した旅順入城式一卷が、今日、東京上野公園科學博物館に秘藏されてゐる、ともかく、戰爭はニュース映畫の發展を促すものである

×　×

學術方面のニュース映畫として往年劃期的の存在を示したものは大正六年頃梅屋庄吉氏の手に依つて慈惠病院に於て樋口博士執刀の腹部手術及び猿二切開術（腹部大切開）を撮影したことは、實に珍らしい出來事であつた、かういふ次第で、昨今でも猿に切開術の撮影などは鬼切とされてゐるのに、この時代に於て試みた努力は（その技術の巧拙はさておいて）買はねばなるまいとおもふ

×　×

ニュース映畫が、その生命たる『速報』振りをはじめて發揮したのは、哈爾賓驛頭に斃れた伊藤博文公の遺骸が軍艦秋津洲に守られて横須賀軍港に到着した時の光景を前記梅屋氏の商會が撮影し、これを東日寫眞部から各特約館に配給したことは當時驚異とされたものであつた、この時のフヰルムはいはゆるヌケがよく、實に明瞭に撮つてゐた、これは明治四十二年の出來事であつたが、その後四十三年であつたか四年であつたか、米國の太平洋艦隊が横濱に入港したことがあつた、その時新橋の吉澤商店ではこれを横濱に迎へて午後三時撮影を濟し、同四時歸京、その夜八時までに現像定着水洗ひを

型の如く消し、[illegible]
附まで終つて、[illegible]
見せたことがあ[illegible]
は實にその迅速[illegible]
放たしめたもの[illegible]
映畫の迅速振り[illegible]
て始めとすると[illegible]
らう

×

處で、今日に[illegible]
迅速、[illegible]
レンズの應用[illegible]
備して來たため[illegible]
はいよいよ急務[illegible]
次第である（終）

商況（六日）

正米市況

[illegible]

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戸期米前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京國債實物

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

神戸對外爲替前場

[illegible]

大連鈔票前場

[illegible]

大阪砂糖現物

[illegible]

潮汐（七日）

[illegible]

臺灣日日新報

日本夕刊共十二頁
編輯兼發行人　佐々木　[illegible]
臺北市榮町四丁目卅貳番地
發行所　臺灣日日新報社

本紙一部六錢・一ヶ月前金壹圓五拾錢・三ヶ月同金四圓貳拾錢・六ヶ月同金八圓・壹ヶ年同金拾五圓也（日本國內及支那送料不要）
廣告料　普通欄一行十五字　壹圓　特別一行　壹圓五拾錢　記事欄一行　貳圓
振替口座臺灣一〇　私書函臺北二番
電話　代表五八〇一　廣告用五八〇二　編輯二二〇五三　運動具二四八二　二二二六　電信略號「タヒ」

鉄道省・逓信省・陸海軍御指定品

岡田乾電池

台北市北門町十二
合資會社 永淵商會電氣部

安川コロダイン

腹痛と胃腸は

効力百パーセント

胃腸病より起る諸障害に瞬間に妙効ある優秀の救急藥として內外に盛んに賞用せらるる頗範藥です

各地藥店にあり

定價　二〇　一〇〇　五〇　二〇〇

東京　安川晃榮堂

日英米佛特許

よくて廉く　高尚な色調

パイロット高級インキ

2オンス入　￥.20

日本特許　八八八四七號
英國特許　三八七八四四號
米國特許　二〇〇八六二〇號
佛國特許　七三二五七〇號

軍醫藥專賣特許

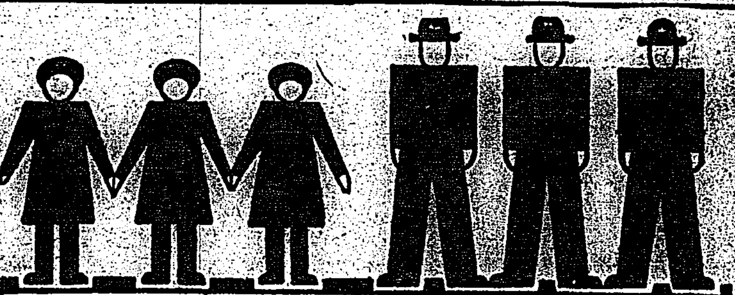
ウイジニン配劑

皇國錠

他店で絶對眞似の出來ない藥！
特約店へ御申込あれ

大阪市[illegible]町四
岩田桃仁堂

台灣の氣候常食に鑑み
日露記念〇〇丸を改良し
數倍の効力を有す



神經榮養強壯　小兒發育促進

腦力・體力強壯劑

フイチン

植物發芽―生命―の力を生ずる重要成分たる有機性燐化合物にして神經疾患を根元的に治療し、頭腦を明快とし且つ體內細胞の新陳代謝機能を高め體力氣力を旺盛とし體重を增加す。

神經衰弱・ヒステリー・健忘症・身體虛弱兒童・病後恢復期・受驗期身體の疲勞等に最も適す、又結核患者の初期に與ふれば衰弱を防ぎ病勢の進行を抑制す。

日本總代理店　發賣元　株式會社　武田長兵衛商店
特約店・東京日本橋區　小西新・鳥居・三共

文献は大阪市東區瓦町三和ビル瑞西バーゼル化學工業會社日本學術部より郵呈

補血強壯に　鐵フイチン
特に加へ美味にせる　粒狀フイチン

12―48

効力位

男性ホルモンアンドロスチン

Medicinischer Wein

臺灣總督府　傳染病研究所
陸軍衛戍病院　其他各地病院　御用

王冠赤十字葡萄酒

血となり
肉となる
此一杯！

補血補腎純粹藥用葡萄酒

飲用赤十字之作用因本藥絕大榮養素能增胃液完全推行消化力增血補腎更治（氣鬱血衰、精神恍惚、身體疲勞、四肢無力、胸膈痞塞、飲食不進、頭目暈眩、面色黃瘦、咳嗽生痰、唇燥口渴、盜精虛汗、經水不調）特爲產前產後婦女飲用補血滋强治去惡阻婦健兒强之大靈藥也

全島到處各藥房各洋酒館　有售

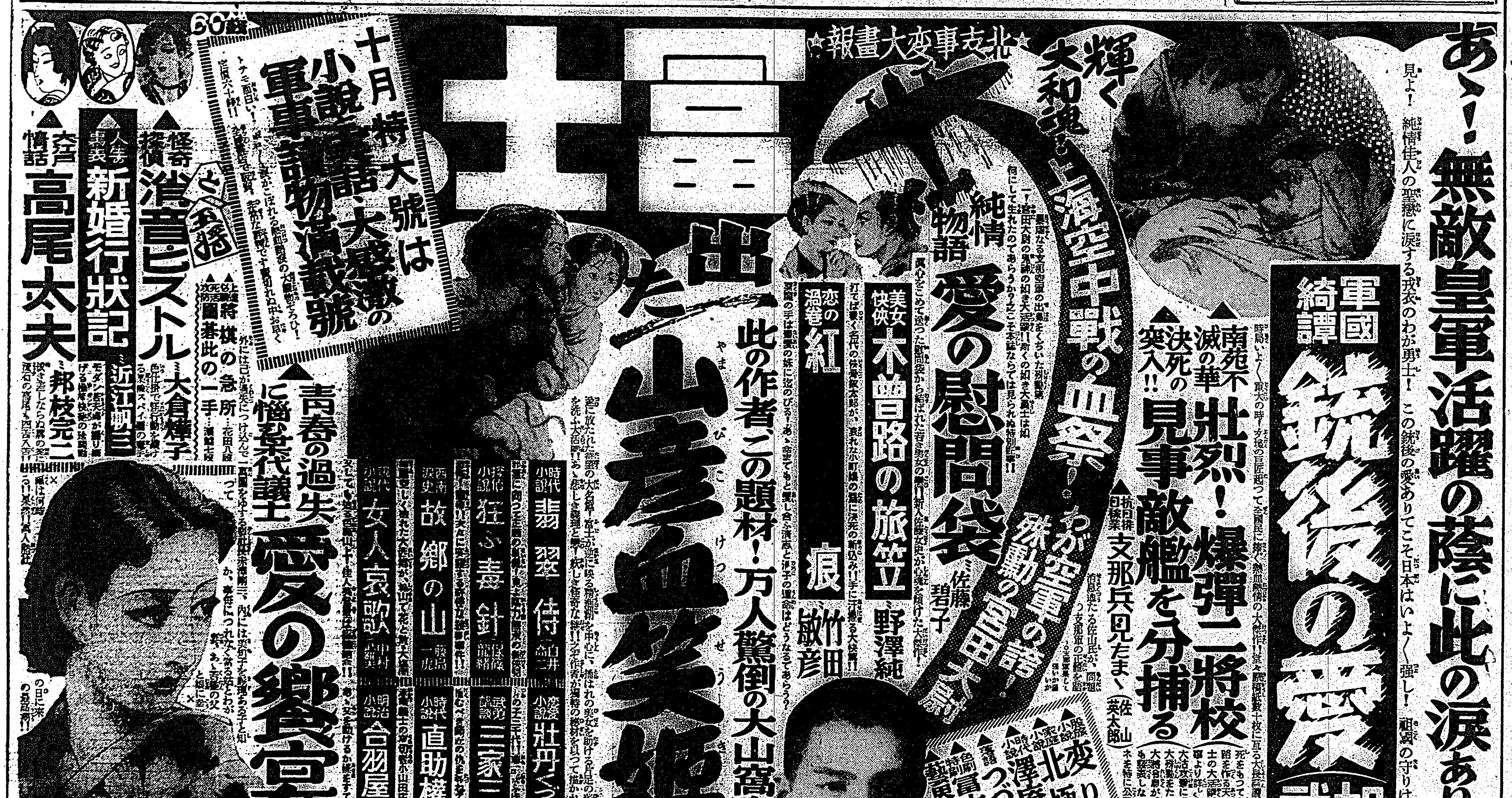
美味！藥用！

その常用は、よく血を增し肉を肥し、病弱不健康を一變して眞の健康體となす特に產前產後の婦人、貧血諸症に效果最も顯著！

進物御贈答用最適品

○全島到處の著名藥店各洋酒店にて販賣す

……發賣元……
東京　守田治兵衛藥房



★北支事變大畫報★

富士

60錢

十月特大號は
小說・講談・大感激の
軍事讀物滿載號

トテモ面白い！定價六十錢！！

あゝ！無敵皇軍活躍の蔭に此の淚あり！！

見よ！純情佳人の聖戀に淚する戎衣のわが勇士！この銃後の愛ありてこそ日本はいよいよ強し！祖國の守りは愈々堅し！！

軍國綺譚　**銃後の愛**　加藤武雄

▲南苑不滅の華　**壯烈！爆彈二將校**　白川武彥

時局いよいよ重大の時！支援の巨匠起つて全國民に捧ぐ熱血熱情の大傑作！！堂々原稿紙數十枚に亙る大長篇讀切！一讀何人も大感動！！

▲決死の突入！！　**見事敵艦を分捕る**　菱刈隆文

死をもつて皇軍の進路を作る天晴れ二勇士の大活躍！！新聞記事より詳しく大感激！！大古攻擊に參加して大殊勳をたてた菱刈大將令息が、何處にも發表しない大特ダネを特に公開

▲抗日排日稼業　**支那兵見たまゝ**　佐山英太郎

消息通たる佐山氏が、問題の支那軍の正體を暴露

輝く大和魂！　**上海空中戰の血祭！**　わが空軍の誇　殊勳の宮田大尉

壯烈なる支那空軍の出動をくぢいた殊勳者―宮田大尉の鬼神の如き大活躍！！斯くの如き大勇士は如何にして生れたのであらうか？之こそ本誌ならでは見られぬ特別記事！！

純情物語　**愛の慰問袋**　佐藤碧子

眞心をこめて送つた慰問袋から結ばれた若き男女の戀！！新人佐藤女史が心魂を傾けた大傑作！

美女快俠　**木曾路の旅笠**　野澤純

打てば響く名代の快男兒が、窶れた町娘の為に決死の斬込み！！手に汗握る大快篇！！

戀の渦卷　**紅痕**　竹田敏彥

魔の手は喜愛の旅に迫のびる！あゝ命までもと愛し合ふ清志と洋子の運命はどうなるであらう？

此の作者この題材！万人驚倒の大山窩小說

出た山彥血笑姫（やまびこけつせうき）　三角寬

惡に放たれた危險の大名！富士が逆に映る尖端を中心に、捕はれの美女を助ける片足の美男が山刀一本で血で血を洗ふ大活躍！！あゝ悲しき義理と戀、妖しき怪奇な謎！！名作者が獨特の新材を以つて描かれる古今無類の山窩小說

▲股旅小說　**變り種**　村上浪六
▲家庭小說　**北極光**
▲時代小說　**澤庵くづれ**　富田常雄
▲落語　**つづら泥**　小勝
▲色刷特別　**富士漫畫大會館**
▲藝界人氣花形　**あの頃を語る**

時代小說　**翡翠侍**　白井喬二
探偵小說　**狂ふ毒針**　甲賀三郎
西南戰史　**故鄉の山**　一照
現代小說　**女人哀歌**　中村武羅夫
變裝小說　**牡丹ぐづる時**　小島政二郎
武勇講談　**三家三勇士**　大島伯鶴
時代小說　**直助權兵衛**　長谷川伸
明治小說　**合羽屋おらく**　川口松太郎

▲青春の過失に惱む代議士　**愛の饗宴**　戸川貞雄

外には己が過失につけ込んで一家團欒をゆする[illegible]、內には[illegible]　あゝ苦惱の父

▲以上特別讀物
▲將棋の急所　花田八段
▲圍碁此の一手　瀨越七段

▲怪奇探偵　**消音ピストル**　大倉燁子

色仕掛で怪行動を續ける女スパイ團の[illegible]

▲人生裏表　**新婚行狀記**　近江明

モダン若夫婦が織り成す愉快な珍騷動

▲江戸情話　**高尾太夫**　邦枝完二

拔き差しならぬ男の意地に、[illegible]高尾の運命は

本社出版圖書

圖書名	定價	送料
臺灣總督府編纂 臺灣堡圖（總數四百六十枚）	一枚 金三十五錢	一枚 二錢
臺灣總督府陸地測量部發行地圖 二萬分一 臺灣地形圖	一枚 金十四錢	一枚 一錢
最新五萬分一 蕃地地形圖（總數六十八枚）	一枚 金十五錢	一枚 一錢
五十萬分一 臺灣全島圖	一部 金五十錢	六錢
三十萬分一 臺灣全圖（總數四枚）	一組 金貳圓	一組 十錢付
改訂 臺北市街圖（番地入）	一枚 金一圓	四錢
口語の使ひかた	一冊 金五十五錢	不要
明石大將傳	上製金八圓 並製金五圓	不要
臺灣八景エハガキ	一組（六枚） 金五十錢	一組 二付 四錢
閑却されたる臺灣	一冊 金二圓	八錢
臺灣語の研究	一冊 金三圓	三十八錢
臺灣と航空	一冊 金十錢	不要
ハイキングコース	一冊 金一圓	不要
臺灣六法	一冊 金四圓	三十八錢
タイヤルは招く	一冊 金一圓五十錢	六錢
臺灣治績志	一冊 金十二圓	不要

發行所　臺灣日日新報社

三共 SANKYO

常習便祕に

カスカラ錠

東京・臺北　三共株式會社

工事入札公告

一、高雄稅關出張所[illegible]新築工事

九月十七日午前十一時[illegible]入札執行

總督官房會計課

大阪送風機製作所

大阪商船

門司行　[illegible]

近海郵船

大和丸　九月九日[illegible]
土佐丸　九月十五日正午
上海行　[illegible]

桐栄丸
宮殿丸

大阪商船[illegible]

山東丸　九月十一日[illegible]
山西丸　九月廿一日[illegible]

丸二組

臨時資金調整法提出さる

戰時體制下に當然な立法

一

戰時體制下、戰時經濟統制立法の一つとして議會に提出された臨時資金調整法の內容は、財界の全般に亘つて最も注目を集めてゐるものである。四日閣議で決定され閣議に開催された右調整委員會での決議によると、先づ資金統制の基準として各種事業を一、原則として事業の新設、擴張、改良を許すもの。二、同原則として認めざるもの。三、諸般の事業を考慮して許可を定めるものに、分類し、之に從つて融資資金の調整を行ふことにする。即ち委員會としては國防上重要關係ある事業にして生產設備の不足せるものには無條件的に資金の供給を受けしむるに反し、諸生產物市中の事業及び資源[illegible]の不急不要のものには原則として許可を許さない。又以上の何れにも屬せざる事業に對しては國防上の關係、國際收支との關係其他調整の事情に依て任意許可不許可を決定するものである。

二

消費統制によると新設擴張については資金借入、自己資本による擴張等についても一定金額を限度として許可制を布くといふ。之により產業會社が金融界の特別援助なくとも實行出來る資本の調達を今後政府の統制下に置くこととなるが、國家非常時投資を國家的見地から、最も有效に使途を定めんとする以上、この許可制度施行も亦已むを得ざる措置と見ねばならぬ。唯だ問題は要許可の限度で百萬円乃至三百萬円の範圍と傳へられてゐるが、目的から言へば出來るだけ低くしなければ的確な效果を期しがたいであらう。

三

又政府はこの法律施行の曉、その運用により株式社債等の發行乃至銀行の融通資金に非ざる事業資金融出に許可主義を以て統制し、金融界のみならず一般の投資家もこれにより其投資運用につき此の如く制限を受ける譯であるが、現在の如く事業資金に不足を告ぐる場合であるから是も又已むを得ざるものと言はねばならぬ。而も財界として注意を喚起すべきは投資統制に關しては政府は金融界に從來も自治的統制を促して來たが、今後はこの自治的統制を一層强化せしめんとする點で、金融機關は今後公債の消化と生產力の擴充に對する二大責務を負はされた譯である。

四

政府は斯くの如く戰時經濟統制の確立に全力を注ぐため、一方與論を中心とする資金により時局に關する生產力擴充に努めると共に、事業界を整理して漸次戰時體制に適する途を拓かん事を努力してゐる。之を急調に進めるならば平和產業が漸次戰時產業に移行することから經濟界に急激な變化を與へることなく、然も此際要する戰時經濟の調整に關するのみならず、諸軍工業、化學工業等の規模を擴張充實し、それだけ將來に於ける我國輸出力を消耗することが出來る點で、我國產業機構の改革に劃期をなすものとも考へ得る。

五

要するに戰時體制下の現日本にとり最も必要とされてゐるものは軍需生產手段の擴充と戰爭消耗とのために必要なる物資である。然し此等用物資を增加せしめる方法は日本の現狀に於てはただ一つしかない。即ち不急不要の物資の消費を節約してそれを軍需關係の生產に振り向けることである。之には貿易に、投資に、產業等に[illegible]統制に就て自治的に行ふと共に一般國民に於ても緊縮節約の決意を以て協力消費の節約を行ふことが必要である。政府でも國民精神作興運動の中に勤儉力行を勸奬する筈であるが、どうしても此際全國民がこの非常時に覺醒して質實剛健の生活に歸り、軍需用以外の資金、物資の消費を抑へ軍事行動の目的成功の日を確實に早くするやう協力せねばならぬと思ふ。

衆議院豫算總會

日滿支三國相携へて赤化勢力掃蕩を期す

事變落着後に

首相が答辯

【東京六日發同盟】衆議院豫算總會は午後一時四十五分再開

野田文一郎氏(民政)　支那事變は東洋平和のため遺憾千万ではあるが、この機會において根本的に解決し東亞の安定が確立すれば今回の戰禍は寧ろ天佑ともいふべきと思ふが如何

近衞首相　わが國の一大使命は東亞の安定にあり、これを阻むものは赤化勢力である、從つてわが國の執るべき方策は直接には支那を反省せしめて抗日政策を放擲せしめ進んで赤化政策を東亞より驅逐するにあり、事變落着後には日滿支三國相進んで赤化勢力を東亞より掃蕩せんことを期してゐる

我軍の所業と斷定し得ない

英大使の負傷事件に付き

廣田外相から答辯

代つて東武氏(政友)起ち又不侵略條約に就き質問し、次でヒユーゲッセン英大使負傷事件に就き質せば

廣田外相　英國側の通牒を受取り事實調査を行つてゐるが今日まで我が日本飛行機の所業なりと斷定し得る何等の證左を得てゐない、又皇軍が非戰鬪員を故意に攻擊する如きことは絕對にないと信じてゐる、唯日支交戰狀態下において友邦英大使が負傷されたことに就ては遺憾であると考へてゐる

東氏　非人道的行爲を行つてゐる事が判明したといふ皇軍及び帝國に對する侮辱に就ては外相は如何に考へてゐるか

外相　外國の公文書に對する批評は差控へたい

海相　帝國海軍は非人道的行爲を敢てするが如きは斷じてない

交通遮斷問答

東氏と海相の間に

次に支那沿岸の交通遮斷に就き

東氏　第三國船が軍器其他を運搬した場合はどう處置するか

海相　宣戰布告がないため海岸封鎖が出來ないが支那船の交通遮斷に限つた譯で第三國船に對しては效果は及ばない、第三國船が武器糧食を運んだといふ事實がまだないから何とも言へないが万一事例の如きことありとすれば外交交涉其他に依る方法があると考へてゐる

と極めて重要な質疑應答があり臨時議會の色彩極めて濃厚である

東氏　英米獨佛の上海中立案に對する帝國の回答中には正規軍及び保安隊が停戰協定地區外に撤收すれば我方も兵を收める旨を書いてあるがその眞意如何

外相　支那正規軍の撤收と保安隊の撤退に依つてのみ事態を收拾し得ると通告しただけである

村松久義氏(民政)　銃後の國民生活安定と綜合的革新政策遂行の急務を說き特に小作法制定の意思如何を質す

有馬農相　小作法の名称を用ひるか否かは明言出來ぬが小作關係の立法を通常議會に提出する準備は熱心に進めてゐる

村松氏　戰事需要と國民需要とを調節する綜合的機關について首相は何等か所見ありや

近衞首相　企畫廳の機能を活用するため現在組織を改善し其他施設を講ずべく研究中である

東武氏　生產力擴充の見透如何

賀屋藏相　事變發生の結果戰爭の目的を達成するために生產力擴充も當面の必要に限定し不急不要の物資への資金勞力は節約せねばならぬ

原口初太郎氏(政友)　青島居留民引揚に關して海相の所見を質す

米內海相　一時的の引揚であることだけを申上げる

江藤源九郎氏(第一)　政府は何故今議會に國家總動員法を提出しなかつたか

首相　近き將來に事變が終了するとは考へてゐないが今回の情勢に於ては斯かる法律に依らずとも軍需工業動員法其他に依つて目的を達し得られると思ふ

江藤氏更に對外宣傳方針について質し午後六時二十分休憩

五輪大會の開催

近く態度を決定

首相、河野氏に答ふ

午後七時四十五分再開

土屋清三郎氏(民政)　政黨に對する首相の所見如何

首相　今日非常時に當り各方面の協力を求めねばならぬ際だから政黨に對しても協力を求めることは勿論である

河野一郎氏(政友)　疏安輸入補償費の計算基礎、統制經濟の進行に依り中小商工業者に與へる影響を如何に見るや

農相　大體不足疏安三十万噸と見て噸當り百五十円見當で輸入するものとして市價との差額を補償する豫定である

吉野商相　中小商工業者に對する影響は除去するとともに同業組合を基調とし適當な方策を講じたい

河野氏　時局重大の際オリンピックの開催でもあるまいと思ふが政府の腹如何

首相　關係閣僚と協議を行つて近く政府の態度を決定したいと考へてゐる

三輪壽壯氏(社大)　舉國一致體制強化の爲めには勞働團體の協力を求める必要はないか

首相　事態の進行に連れて勞働團體の協力を仰ぐ必要が起るものと考へてゐる(以下夕刊)

三輪氏　職業紹介事業を國營にする必要はないか

馬場內相　勞働需給調節の立場から國營にしたいと考へてゐる

三輪氏　生活必需品の價格を公定する必要はないか

商相　生活必需品の物價統制の一手段として公定方法も考慮する必要があらう、今議會の提案中にも多少この意味は加へられてゐる

三輪氏　農村に於ける應召に基く勞働力不足を補填する勤勞奉仕案はその規模を擴大組織化して全國的な生產力擴充計畫にまで編制する必要はないか

農相　勤勞奉仕案は事變に即應する應急案であるが將來さうしたいと考へてゐる

松方幸次郎氏(第一)　公債發行額の半額位政府紙幣の形式で發行する考へはないか

藏相　曾つて行はれた公債の日銀引受といふ方法は政府紙幣の發行と同じやうな效果を顯すものである

松方氏　產金獎勵のため資金を潤澤に供給する腹はないか

藏相　產金增加のため十分の獎勵方策を講ずるつもりである

松方氏　公債の利子は三分五厘のまま上げもせぬつもりか

藏相　上げることはない、下げることは希望してゐるが急にはやれぬから對策を攻究してゐる

これで質問を全部終了し午後十時三十分散會

廿五名程度の委員會を設ける

臨時船舶管理法案委員會で

永井遞相が重要答辯

【東京六日發同盟】六日の臨時船舶管理法案委員會で永井遞相は左の重要答弁をなした

一、本法は海運業者の自主統制を十分尊重し、その自治統制の後にあつてその實行を保障するものである

一、本法に規定する運賃、傭船料の決定に際しては十分當業者の意見を聞き業界の實情に應じて決定したい

一、本法の運用については別に船舶管理委員會を設け二十五名程度の委員をもつて構成し、その委任は關係官吏、船主、貿易業者、荷主、貴衆兩院議員中よりする

一、古船輸入許可制の緩和の條件については明言出來ないが大體において歐州大戰中の建造にかかるものは許さない、許可船舶の先例は十六、七年をもつて標準としそれ以上のものも場合に依つては附帶を條件として許可することがあるかも知れぬ

一、內外地海運行政の統一については十分研究する

部に同日の委員會で可決せる

一、軍需工業動員法の適用に關する法律案

を日程に追加一括上程し原案通り可決同二時二十七分散會

衆議院本會議

【東京六日發同盟】六日の衆議院本會議は午後五時開會日程を變更し

一、軍需工業動員法の適用に關する法律案(政府提出貴族院送付)

一、臨時馬の移動制限に關する法律案(同上)

を一括上程、提案理由につき杉山陸相の說明あり委員附託として同五時九分散會

貴院本會議

【東京六日發同盟】六日の貴族院本會議は午後三時十八分開會、直ちに日程に入り

一、臨時馬の移動制限に關する法律案

監視船を拿捕

交通遮斷區域を侵す

【香港六日發同盟】六日朝我が〇〇艦が香港近海を警備中、支那稅關監視船一隻が交通遮斷區域を侵してデープ灣附近を航行してゐるのを發見し直ちにこれを拿捕した、これは五日沿海の遮斷區域擴大を宣言して以來の最初の收穫である

【香港六日發同盟】五日午後六時わが〇〇艦隊が香港近海を警備中香港を距る十二浬の赤灣で支那稅關監視船一隻が交通遮斷區域を侵して航行してゐるのを發見直ちにこれを拿捕した

【香港六日發同盟】五日午後六時赤灣沖で拿捕されし支那稅關監視船は[illegible]の二隻で其中一隻は小艇にも發砲し來つたのでわが方も應戰し難なく拿捕したが乘組支那船員は何を血迷つたか頑强に抵抗するので已むなく數名を射殺した、拿捕船の英人船長一名はその際附近の海岸に上陸させ香港に歸還せしめた、尙右二隻の中一隻は火災を起して間もなく沈沒したと

城下の誓ひから遁れる爲め

國府が聯盟に提訴

【南京六日發同盟】國民政府は日支紛爭に關し國際聯盟に對し正式提訴をなすに決定、六日外交部より此旨發表した

【上海六日發同盟】國民政府外交部は日支紛爭を國際聯盟に提訴する旨發表し今次事變の前途に對する國民政府の態度を明示するに至つたがその眞意は恐らく城下の誓ひより逃れるため第三國の介入を誘致して日支の直接交涉を回避せんとするものの如くで戰局の發展とともに國民政府の態度は相當重視されてゐる

空軍が爆擊

陸軍は突擊

【天津六日發同盟】六日午前七時前後わが空軍〇〇及び〇〇の兩部隊は平漢線良鄉西北方凡そ四十キロの千軍台、南白口附近の峻嶮に據る敵陣地を爆擊し多大の損害を與へた、折柄該方面を攻擊中の陸軍部隊はこの爆擊に呼應して敵陣地に突入し狼狽退却する敵を追擊又追擊して目下急追中である

汕頭空襲を敢行

【香港六日發同盟】六日正午我が海軍機〇臺は汕頭上空に現はれ同市要塞地帶に大爆擊を敢行し多大の損害を與へて歸還した、市中は大混亂を呈してゐる

廣田外相演說に米國は好感

日本の立場を適確に表現したものとして

【ワシントン五日發本社特電】廣田外相の議會演說は時節柄米國でも注目を惹き各紙に大々的に報道されたが當地外交消息通は一般に右は日本の立場を適確に表現したものとして好感をもつて迎へてゐる、而して同演說中廣田外相が日本は支那の排日感情を採滅するまで徹底的に膺懲するとの決意を示した点に特に注目してゐるやうだ、一方支那側の宣傳は日を逐つて露骨となり、ある事ない事さかんにデマを飛ばし中には蔣夫人宋美齡が日本はやがて英米を敵として戰爭する氣だといつたと騷いでゐる新聞もあるが米政府も市民も比較的冷靜に推移を見守つてゐる

ルーズベルト大統領は悠々舟遊び

【ブロックアイランド五日發同盟】ルーズベルト大統領は五日ヨットでニューイングランド地方沖合に悠々舟遊を試みてゐるが五日船上に新聞記者團を引見し日支問題に就き左の如く述べた

支那には未だ七千七百八十名の米國人が殘留してゐるが政府の引揚勸告も廣大な地域に散在してゐる事とて徹底しない、米政府の態度は依然變らず「二十四時間制」を基礎とし刻々變化する情勢に對應し日支事變の推移を執る方針で中立法發動問題の如き特に然りである

右の談は現在大統領が

一、如何にして殘留米人を引揚げさせるか

一、中立法發動の場合紛爭地域に於ける米軍隊を如何にすべきか

一、次の紛爭地点となるのは何處か

の三つの問題につき憂慮してゐるものと解される

米國政府は飽迄で自重

【ワシントン五日發本社特電】日支兩軍の衝突が愈々擴大激化の一線を進みつつある情勢に對し米政府は依然注視の態度を續けつつあるが、當局筋より洩された米政府の對極東根本方針なるものは大體次の六項目に要約されると見られる

一、米國は米國居留民並にその權益を放棄するものでない

二、日支兩國に對し孰れにも組せず又孰の國をも恐れるものに非ず

三、平靜狀態の回復するまで在留民の强制引揚げを行はず又軍隊の引揚げもしない

四、日支兩國に對する軍需品の輸出が極めて微妙であり利益よりも損失の多い現狀に鑑み正式に宣戰の布告なき限り中立法を發動せず

五、極東の情勢に關し他國と協議し又は單獨動作をなすことあるべきも共同動作は之をなさず

六、米國は兩交戰國によつて極東から追出されるものでないが又戰爭熱々たる平和論者に動かされて輕率に行動をなすものでもない

東洋平和と西洋平和區別する譯に行かぬ

フランス副首相の演說

【パリ五日發同盟】フランス副首相ブルーム氏は五日パリ郊外ヴエル・ヴエリに於ける社會黨支部大會に臨みスペイン問題につき一場の演說を試みたが其內極東問題に言及し左の如く述べた

佛政府はこれまで各國の先頭に立つてスペイン再統一を援助して來たがその努力は成果を期待し得ぬやうである、今や國際海上監視制は失敗に歸し義勇軍撤收問題も不干涉委員會における獨伊兩國の遷延戰術に依つて有耶無耶になつてゐる、現在極東の事態はスペイン問題と關聯を有する、即ち若しスペイン內亂がなければ日本は更に愼重に行動したであらう、又英國も若し極東問題に注意を奪はれなければもつと歐洲問題に熱心になれたであらう、何れにしても平和は分割し得ない、時間を稼いで相關聯した東洋平和と西洋平和といふ風に區別する譯には行かない

最低限度十萬圓

自己資金をもつて實行する新設擴張

【東京六日發同盟】臨時資金調整法の規定中、自己資金をもつて實行する新設擴張につき政府の認可を要する最低限度に關しては賀屋藏相は六日の衆議院大藏省關係法案委員會においてこれを十万円とし社債募集、貸付金に就ても大體同程度とする方針を明かにした

新法律の適用を受くる品目

【東京六日發同盟】吉野商相は輸出入品に關する臨時措置に關する新法律の適用を受くべき品目について六日の衆議院同法案委員會において左の如く言明した

一、輸入の制限を受くべきものは棉花、羊毛、木材とし之等の原料は輸出も制限さる

一、輸出の制限を受くべきものは鐵材とす、尙重要品の輸出については重要工業動員法第六條を適用す

一、成品の製造に關する命令事項とは例へば棉花、羊毛などを原料とする成品に對するステープルファイバーの混用に關する命令などの如し

一、使用又は消費の制限を受くべき物品は例へば不急と認められる劇場、百貨店、其他建築用の鐵材及び橋梁其他土木用鐵材等とす

一、配給讓渡に關する命令の中には販賣價格に關する命令をも含むものとす

一、本法は朝鮮、臺灣其他外地にも適用す

けふの兩院

【東京六日發同盟】七日の兩院

貴族院　衆議院より昭和十二年度追加豫算案の送付を待つて午後より本會議を開き、賀屋藏相の說明あつて後これを委員附託とする、又午後より豫算總會並に各法律案の各特別委員會を開く

衆議院　午後一時より本會議を開き午前の豫算總會で可決された追加豫算案、臨時軍事費豫算案等を緊急上程して可決、直ちに貴族院に送付し更に委員會で可決された法律案があればこれを緊急上程する、午前十一時より豫算總會を開く外午前午後に亙り[illegible]、公債法案外六件の各委員會を開く

色物者任適

歐米へ使節派遣

支那事變に關聯する

帝國の眞意徹底の爲

【東京六日發同盟】政府は在外使臣に訓令して支那事變に關するわが公正なる態度に關しての認識を深むべく努力して居り廣田外相を中心として最近閣議間に[illegible]を深めてゐるが、六日の衆議院豫算總會において外相は單に外交官に止まらず外國と關係の深い人々を煩はして列國に帝國の眞意徹底に努める心算であるとの答弁を爲し歐米へ使節派遣の意圖を示した、然して使節につき政府部內で問題となつてゐるのは外相の推薦にかかる石井菊次郎氏、深井英五氏等であるが、各閣僚夫々適任者を物色中で派遣の時期方法決定までには尙ほ時日を要する見込みである

山西省一角に日章旗飜る

東天鎭を占領して

【張家口六日發同盟】察哈爾〇〇部隊の有力部隊は山西省境の長城を越えて五日山西に進入し支那軍の陣地天鎭縣城東方の高地を占領し、午後七時には田家窰、李子口、新平堡を結ぶ線に進出し更に西進して左右兩翼部隊は友軍〇〇部隊と協力し六日未明を期し之に呼應して天鎭城の敵を急襲し午前七時東天鎭の要地を占領し山西省の一角に日章旗を飜へした、〇〇縣の陷落今や旦夕に迫り將に吞むの概がある

列車砲を擊退

【唐官屯六日同盟特派員發】敵の裝甲列車は津浦線上に列車砲を据つて[illegible]にも我が戰線を突破せんとして唐官屯驛目掛けて列車砲の一齊射擊を爲し、これが爲め驛頭にあつた兵一名は負傷、馬五頭は斃されたが我方は直ちにこれを反擊擊退せしめた、敵は夕方より夜にかけて時折逆襲の都度擊退されてゐる

敵は馬廠を死守

馬廠攻擊を開始

【唐官屯六日發同盟特派員】馬廠前方に頑强な抵抗を續けてゐる敵軍は後に馬廠河を控へ前に堤防を利用して幅五メートル餘の强固な塹壕を構築銃眼を設け我軍に對し十字砲火を浴せかけてゐるがこれ等は第百九旅を主體とし少くとも二團が集結し、尙中央軍第二十五師第四師の一部も參戰、その數一万を越し、彼が最後の據點と頼む馬廠死守に躍起となつてゐる

【唐官屯にて同盟特派員六日發】午後二時四十分わが〇〇部隊は〇〇列車をもつて馬廠附近の陣地に據れる敵の攻擊を開始した、わが砲兵もこれに呼應して午後四時に至るも猛攻中であるが敵は頑强にこれに抵抗し彼我の銃砲聲は殷々として天地を震はせてゐる

汽車は唐官屯まで全通

【唐官屯六日發同盟特派員】津浦線は我が鐵道部隊の活動に依り破壞個所の修理を終へ六日午前[illegible]唐官屯まで全通した、尙馬廠河鐵橋も破壞されてないことが判明した

敵の死傷五千餘

【天津六日發同盟】支那側の情報に依れば我軍は目下[illegible]五千餘名に及び、旅長馬玉田、團長劉之明、[illegible]團長余風讓、胡光武等二名は重傷を負つた

爆擊、掃射を繼續

【上海六日發同盟】我が海軍航空隊〇〇機は六日午前八時東部戰線の上空に雄姿を現はし銀翼を朝日に輝かせつつ旋回偵察の後前面及び市政府方面の敵陣地に對し猛烈な爆擊及び機銃の掃射をなし敵に大打擊を與へた、午前十一時現在に至るも尙我が爆擊は續行され地には野砲唸り、空には高らかな爆音殷々として耳を劈き戰況は漸次我に有利に展開しつつあり

石井部隊が敵前上陸

【上海六日發同盟】軍艦〇〇に便乘した石井部隊の一部は昨日〇〇に上陸した飯田部隊と相呼應して六日午前六時虬江碼頭より一氣に敵前上陸を敢行、敵陣地に突擊し猛烈な白兵戰の後[illegible]部隊の右翼陣地を完全に確保した

激戰を展開

【上海六日發同盟】四日〇〇に上陸した陸軍飯田部隊は五日午後十時半月夜の中を續々として租界東部戰線に向つて行動を開始し滬江大學東北東クリークの附近に在る同部隊の最前線陣地に集結敵前架橋するやクリークを强行突破し六日午前六時[illegible]附近の金家宅(楊樹浦附近の金家宅とは別)のトーチカに據る敵に對し猛烈なる連續攻擊を開始した、[illegible]

人　事

▲大野綠二氏(臺東郡守)　六日來北(日之丸館)

▲安藤上貢氏(國語普及幹事)　六日內地より歸臺

▲黑田秀博氏(國語普及幹事)　六日內地より歸臺

▲森宗秀雄氏(上海駐在貿易紹介所長)　六日來臺(鐵道ホテル)

▲湯原邦一氏(司法省事務官)　四日來臺、五日夜行にて南部へ

▲山地勇氏(臺南土木出張所技師)　六日來北(日之丸館)

[illegible]

今議會に提出された[illegible]の實施に伴ふ防[illegible]課の新設をはじめ、かねてからの懸案であつた警備の充實も此の會に實現することになつた▲それで警察官及び司法官練習所もここもと大繁昌となつて來たが、六百名の募集に千二百名の應募者があり、優秀者の選擇にかなりの餘裕が出て來てゐるとは、先づ結構なはなし▲總督府の細井警務局長の話に據ると「現前の時局から言へば勿論多數の警察官を必要とはするが、一方に於て警察官の素養の向上は、總督府として恒久的に希望し一貫した方針として進めて來た所であるから時局のために採用期間を短縮達成するの方法は採らざる所である」と▲[illegible]の强行的充實に依り、全島の警察陣營いよいよ强化される譯であるが、これを併進させる所に當局者の多大の苦心も察せられよう▲內地各府縣でも警察官の退職又は出[illegible]の爲めに際して[illegible]學校又は大學出ばかりの優秀警官八名を出向させて呉れたには、警務局の好意に對して台灣側でも大に感謝してゐるさうだ。

秋の呉服品特別奉仕大売出し

七日・八日・九日・十日・十一日・此の五日間

大量仕入れで絕對安く賣り

日頃の御愛顧に酬ゆるは今

◎秋のセル新柄揃

◎英ネル新柄荷揃

奉仕品の一部

浴用石鹸　三ヶ入

晒木綿　一反

ナイス毛布　白　一本

三河帶芯

浦團更紗　大二尺

金巾クリーム三巾

三巾更紗敷布　仕立上

四巾更紗敷布　仕立上

瓦斯縞布團地　一反

更紗布團

獎拭ペンヤ　一〆

モスリン一ワ身　仕立上

レース付シミーズ

ソーススカート

ポプリン婦人服

毛斯絽衣　上

單衣長襦袢

コーラン絽紗單衣

同

本場大島　中柄・小柄

銘仙夜具地　一反

西陣御召單衣柄　一反

西陣御召柄

名古屋珍伊達

進物用銘紗蓋呂敷

擴紋り縮兵子帯　一枚

お買物は松井に御決定がお德

[illegible]

松井呉服店

內科　小兒科　レントゲン科

醫學博士　久保全

基隆市旭町二丁目角

(入院隨意)　電話八三八番

性病科　永吉病院

くすりをあわせます

處方調劑致します

臺北市榮町四丁目十二番地

信生堂藥局

電話三一八九番

冷凍機のアンモニヤ油

スピーデイ印臺灣總賣捌元

機械油　防腐劑　各塗料

特約店

富士商會

基隆市日新町七ノ三

山葉ピアノ
YAMAHA

月19圓拂の便法あり

(カタログ月賦內容進呈)

全島に特約店あり

日本樂器會社

臺灣出張所

臺北　榮町

臺灣に於ける勞力と勞銀問題
木村社長座談會に聽く

（三）

◇河村社長　林さん如何でありますか

◇林氏　私は實は今月突然のお話で何も準備もして居りませぬ、私は皆さんのお話を伺はして頂く心算で出て參りました、唯今社長の御指名で何かお話しないと責任が通れませぬと思ひます、それで唯今皆さん方から色々お話のありました通りに恒久的の事業には各專門的の勞働者をお持ちになつて比較的移動性が少い、私共の土木工事と云ふものは大體に於て移動性の極めて多いものを使つて居ります、その事に就ては現在日月潭の第二工事は昨年以來非常に不振を極めましてそれで[illegible]の工業化とか何とか云ふ話も盛に宣傳されて居りますけれども、さてどうすればそこに達することが出來るかと云ふことを考へると云ふと寧ろ吾々としては寒心に堪へないと云ふ樣な氣持があるのであります、然しながら吾々としてはどうすれば之を解決することが出來るかと云ふことは常に考へて居らぬ譯ではありませぬ、取敢ずの問題としては寧ろ勞働者を養成すると云ふことだらうと思ひますが、將來の問題として私共の考へて居ることを申上げますと出來るだけ工事を機械化する、さうして茲に專門の勞働者を作る、勞働者と云ふものは機械をいぢる、機械を扱ふものであると云ふ樣なことに段々することが出來ればそこに專門の勞働者に與へる賃金も相當のものを出し得る。而もそれに依つて能率は非常に上り利益であると云ふことにまで行かなければならぬものと私共思ひます、丁度私が大正五六年頃內地の電力事業に關係して居りましたその當時色々の勞働者に接觸しまして之を補ふ爲に工事を機械化する、さうして勞働者の數を成るべく減し勞働者の素質を成るべく恒久的のものにする、專門の勞働者を使つてさうして解決しようと云ふことで各種の各方面のさう云ふことに非常に努力しまして機械を會社で買つて据付けて運轉して使へる樣にまでした、從業員は所がどうしてもそれを使ひませぬ、そんなことをするよりも此方が可いと云ふ樣に矢張り從業員に手でするのが先づ機械化して使ふ方が不利益であると云ふことになる、然しその後十年間の時日を費しまして今日では手でやれと云つてもやりやしませぬ、機械でなければやりやしませぬ、從つて勞働者には相當の賃金をやることが出來る、其勞働者は馬鹿らしくて百姓までは出來ぬと云ふ程度まで行かなければならぬ、內地辺りでは專門の勞働者としてはさう云ふ程度まで進んで居ります、それで百姓の方が引合ふ、百姓をして居る方が樂だと心得る者があるああ云ふ人間をどうしてもこつちに引張つて來てそれに依つて解決をしようと云つても困難である、馬鹿らしくて百姓などは出來ぬと云ふ程度まで進めるには何としても勞働の機械化と云ふことが必要である、それに今私共の計畫して居ります所の霧社の貯水池であります、之なども二千人前後の勞働者を減らして機械化し計畫を樹て居ります、それにしてもそれ程減らしてもまだ千人乃至千五百人の勞働者を必要とすると云ふ樣な譯でその計畫の問題を解決するには少くない勞働者を使用しなければならぬ、之は相當長い期間だらうと思ひますがさう云ふ樣な譯で行詰りを生ずるのは如實に見える、之をどうするかと云ふことを考へますと寒心に堪へない氣が致します

資金調整法に基く
新規資金の融通
無條件に認めらるる事業別
委員會で內定

【東京六日發同盟】政府は五日の資金調整委員會に於いて左の事業は原則として新規資金の融通を無條件的に認むる事に大體內定を見た

採鑛業　金、銀、銅、鉛、石炭、石油、水銀、錫、亞鉛、鉛、アンチモニーの各原鑛

土石採取　明礬石、アルミニューム原料用粘土

ステープルファイバー

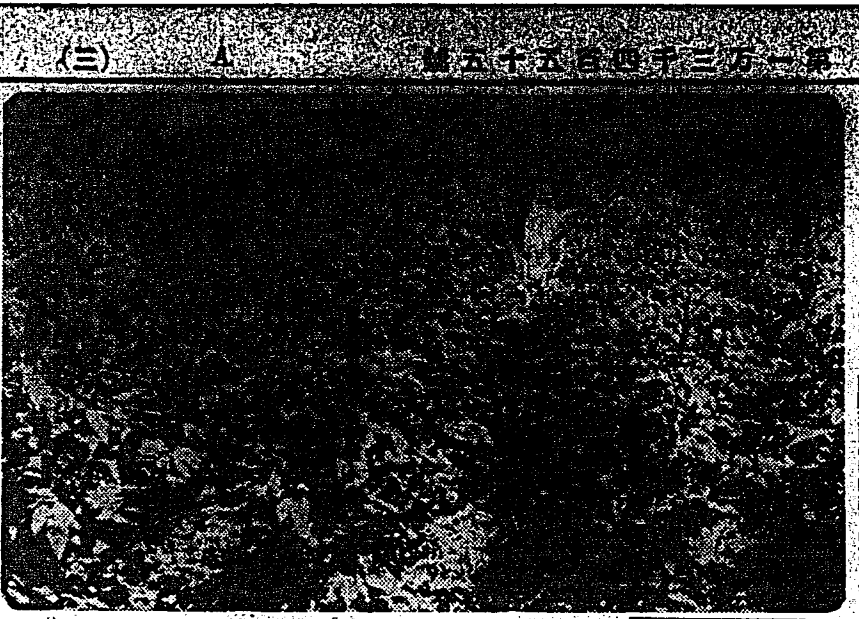
金屬工業　[illegible]アルミニューム、マグネシューム、銅、鉛、亞鉛の各製錬作業

機械製造　鉄砲弾丸兵器類、自動車、飛行機、パルプ機械、[illegible]

造船業

鋼鉄化業工業　硫酸、硝酸、グリセリン、メンタノールの製造業

[illegible]原則としか認めない事業については[illegible]の為め決定に至らないので一兩日中に第三回會合を開く事となつた



日本通運は十月一日創立
國通は記念配當す

安座上國通臺北支店長は六日入港の大和丸にて歸臺したが基隆にて次の如く語つた

安座上支店長談　日本通運會社の創立は八月二十一日中島鐵道大臣を委員長として設立委員會任命され、廿二日には喜安鐵道次官を委員長とする評價委員會官制公布され二十八日には國際通運の大株主懇談會終了、また評價委員會も終了、三十日には一切の調印を了した、國際通運の臨時總會は本月十三、十四の兩日に亘つて開催され本月末決算、株主に對し七分普通配當の外記念配當二分を行ふ豫定で日本通運は十月一日創立總會を開催、ここに新らしい看板がたてられるのだ

共同商事と廣告用マッチ
本島の需要年五萬圓

日本燐寸共販株式會社は今回本島に於ける廣告用マッチ類の販賣權を共同商事株式會社へ讓渡し從來共販會社臺灣事務所で注文を引受け又は內地の清酒、ビール其他の會社が東京、大阪の燐寸業者に注文共販で引受け本島へ移入し來た廣告用マッチは今後總て共同商事の手を經ることとなつた、共同商事は二年前から朝日燐寸會社の鷹印、虎印マッチの本島代理販賣を引受け年々販路擴張して本年上半期には二百打入四千五百箱を本島へ移入してゐるが今度廣告用マッチの本島販賣權を一手に掌握した結果、これだけで小箱百万個、價額約五万円の賣上增加を來すことになつてゐる

蓬萊は堅實
期二丸糯手合

【神戸六日發本社支局特電】定期は氣迷裡に亂調子を繰返してゐるが蓬萊は堅實に九月限十円八十五錢—八十錢唱へ現物は十一円卅錢と從り保合丸糯は十二月十二月物十円四十錢—五十錢にて大阪商の來當にて數千袋出來た模樣

昭和製糖臨時總會
資本金千五百萬圓に增額

【東京六日發同盟】昭和製糖では六日午前十時丸の內生命保險協會に臨時株主總會を開き現在資本金一千万円を一千五百万円に增額せしめる件を附議可決した、右は現下のパルプ問題解決のため近く設立されんとする臺灣パルプ工業會社（資本金一千万円、四分の一拂込）に出資するため增資となつたものである

日月潭第二發電
五日より營業運轉開始

日月潭第二發電所に對する遞信部の落成檢査は既報の如く一日より行はれ四日終了し、近く五日附にて使用認可が出ることとなつたので、臺電では五日より營業運轉に入つた、之にて日月潭發電所は第一發電所にて最大十万キロ、第二發電所にて四万三千五百キロ出力可能となつたわけで第二發電所の運轉により日月潭の水が約三分の一節約出來ることとなつた、然し現在の電力需要は最大八万五千キロ內外であるから第一發電所のモーター五台の內四台と、第二發電所のモーター三台の內一台を以て差當らくは餘裕ある運轉をなし、渴水期の十二月以降冬季には水の節約のため第一發電所のモーター三台と第二發電所の分二台を以て九万キロ位出力する豫定であり各地の[illegible]水力發電所は休轉することになつた

隆昌に向ふ東部の棉作
適種は世界最高級のもの
指導機關の擴充が急務

殖產局農務課の浦川商氏は八月二十七日から九月二日まで一週間に亘り東部臺灣の棉作狀況を視察して歸府したが語る

東部臺灣における棉作狀況を踏査した處概要次の通りである

先づ東部農產試驗場の狀況を見るに本場分場を通し數多の試驗研究を設けて居り、栽種方法を科學的に明確にすると共に優良品種の關係分離と育種に成功して居る、東部[illegible]の路中心たる[illegible]支廳新開園[illegible]で[illegible]は從來[illegible]の棉作[illegible]處未だ見るべきものがないにも不拘臺東[illegible]の收穫を收め得る[illegible]成績を擧げて居り對岸の[illegible]に劣らない成績を擧げんとして居る、[illegible]に研究中の處[illegible]に於て[illegible]の[illegible]を擧げしめつつ在り

[illegible]は從來[illegible]の棉作[illegible]甘蔗の間作を[illegible]で十[illegible]利用[illegible]增進上大に期待される

臺東廳新港の宮本[illegible]氏は早くより[illegible]を[illegible]した處[illegible]に亘り[illegible]の指導と相俟て東部[illegible]の[illegible]に[illegible]して居る、本年は數十甲に亘り集團的に栽培さるるに至り、目下の[illegible]は順調なる生育を遂げつつあり、花蓮港廳吉野村に於ても[illegible]氏外[illegible]有志[illegible]に植付し[illegible]各年[illegible]して居る

其の成績は目下の[illegible]は比較にならないが之は肥培管理が合理的でないからである[illegible]上の通り既に[illegible]的にも有望な事が明され、今後更に一層明確にされんとして居ることを認め得た東部の棉花改良增產上特に留意を要するポイントは肥料の合理的施用と適種を選ぶことに在る、之を要するに主として新栽培なると[illegible]地なると共に[illegible]の合肥を併用すべく[illegible]に於ては[illegible]種[illegible]を加用すべきである、適種に目下の[illegible]東一號及臺東二號等である之に[illegible]もゴシピウムバーバデンスに屬する世界最高級のものである、之に[illegible]の特産品であつて[illegible]に出來ない[illegible]に[illegible]化して[illegible]のエジプト[illegible]

[illegible]

議會に提出さる
戰時經濟立法
米穀應急措置法案

【東京支局發航空便】政府の所有米をもつて一手に供給することとなつた[illegible]用米の賣買に關する制度を整備するとともに米穀の所有數量を相當量增加し事變今後の進展に備へんとする「米穀の應急措置に關する法律案」要項は二日の閣議において承認を得たのでいよいよ今議會に提案することとなり同日農林省より左の如く發表された

第一　政府は軍用に供するため必要ありと認むる時は米穀統制法の規定により米穀の買入、賣渡しを行ふことを得ること、前項の買入の價格は時價に準據してこれを定むること

第二　政府は支那事變に關聯し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところにより米價が米穀統制法にもとづきて發する命令に定むる最高價格以下なる場合に限り米穀統制委員會に諮問して米穀の買入を行ふことを得ること、前項の買入の價格は時價に準據してこれを定むること

第三　前二條の規定による米穀の買入または賣渡しは米穀統制法の特別會計に屬せしむること

第四　本法は支那事變終了後一年內にこれを廢止するものとすること

輸出入品臨時措置法

【東京支局發航空便】輸出入品などに關する臨時措置に關する法律案は二日の閣議で正式決定、今議會に提出されるが法案の全文は左の如し

第一條　政府は支那事變に關聯し國民經濟の運行を確保するためとくに必要ありと認むる時は命令の定むるところにより物品を指定し輸出または輸入の制限または禁止をなすことを得

第二條　政府は支那事變に關聯し國民經濟の運行を確保するためとくに必要ありと認むる時は輸入の制限その他の事由により需給關係の調整を必要とする物品につき左の措置をなすことを得

一、命令の定むるところにより當該物品を原料とする製品の製造に關し必要なる事項を命じまたは制限をなすこと

二、當該物品またはこれを原料とする製品の配給、讓渡、使用または消費に關し必要なる命令をなすこと

第三條　政府は第一條の制限もしくは禁止または前條の[illegible]に關し[illegible]

第四條　[illegible]

[illegible]たる物品にして犯人の所有しまたは所持するものを沒收することを得、もしその全部または一部を沒收すること能はざる時はその價額を追徵することを得

第五條　第二條の規定による命令もしくは處分またはその命令に基づきてなす處分に違反したるものは一年以下の懲役または五千円以下の罰金に處す

第六條　第三條の規定に違反し報告をなさず虛僞の報告をなしまたは檢査を拒み、妨げもしくは忌避したるものは六月以下の禁錮または三千円以下の罰金に處す、本法に基づきて發する命令により政府に提出する許可の申請書その他の書類に虛僞の記載をなしたるものまた同じ

第七條　法人の代表者または法人もしくは人の代理人、使用人その他の從業者がその法人または人の業務に關して前二條の違反行爲をなしたるときは行爲者を罰するのほかその法人または人に對し、また前二條の罰金刑を科す

第八條　本法の罰則は本法施行地に本店または主たる事務所を有する法人の代表者、代理人、使用人その他の從業者が本法施行地外においてなしたる行爲にもこれを適用す、本法施行地に住所を有する人またはその代理人使用人その他の從業者が本法施行地外においてなしたる行爲につきまた同じ

附則　本法は公布の日よりこれを施行す、本法は支那事變終了後一年內にこれを廢止す

事變の影響で八月の貿易減退
船腹不足と
年初以來の好調一頓挫

財務局稅務課調査にかかる八月中の臺灣貿易は時局關係に依る船腹不足と取引萎縮により輸移出入共著しき減退不振を示し、年初以來の好調は茲に一頓挫を來した、即ち總貿易に於ては輸出二千七百四十六万円にして前年同期に比し八百七十七万円（二十四%）方激減し、輸移入は二千六百十一万円と百二十七万円（五%）の減に止り貿易尻は出超百三十四万円と七百四十万円（八十五%）方の出超激減を示した、之を表示すれば左の如くである（單位千円）

◇總貿易

	（八月中）	（比前年同期增△減）	（同上比率）	（一月以降累計）	（比前年同期增△減）	（同上比率）
輸移出	二七、四六四	△八、七七二	△二四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸移入	二六、一一八	△一、三七〇	△五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	五三、五八二	△一〇、一四一	△一六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出超	一、三四五	△七、四〇一	△八五	[illegible]	[illegible]	[illegible]

外國貿易に於ては對岸貿易は全滅の形で全般的には輸出二百八十六万円で三万円（一%）の微減に止り、輸入は二百六十八万円と百二十六万円（三十二%）方激減を示し、差引百七十五万円の出超を示したが累計に於ては千七十二万円の入超で六百十四万円（三十六%）の入超減を示した、今次事變の性質よりして先行減退は免れまいと見られてゐる

◇外國貿易

輸出	二、八六二	△三六	△一%	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸入	二、六八七	△一、二六五	△三二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	五、五四九	△一、三〇一	△一九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入×出超	一七五	[illegible]	[illegible]	×一〇、七二八	△六、一四〇	△三六

◇內國貿易

內台航路の船腹不足と米の移出不振とにより移出は二千四百六十万円と八百七十三万円（二十六%）も減少して居り之に反して移入は元來恒常的に鈍いので船腹不足を來さなかつたので二千三百四十三万円と僅か十万円（〇・四%）しか減らず差引百十七万円の出超を示し八百六十三万円（八十八%）方出超激減となり累計に於ては出超一億四千十一万円で一千四百六十万円（十二%）增である

移出	二四、六〇一	△八、七三五	△二六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移入	二三、四三一	△一〇五	△〇・四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	四八、〇三二	△八、八四〇	△一六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出超	一、一七〇	△八、六三〇	△八八	一四〇、一一七	一四、六〇四	一二

臺灣の茶業
他の產業より遲れた
茶園の擴張、合理化叫ばる

往時烏龍茶の全盛時代は烏龍茶の生產高が一千五百万斤、其他の種類と合せて二千餘万斤に達した事があつた、米、生果其の他の產物は年々長足の進步を來したが獨り茶業だけは進步しないのみか最近の年產高は僅か一千七、八百万斤しかなく以前より反て減つてゐる、之は[illegible]は年に二回取れる果物も毎年の收穫が出來るが、[illegible]の計畫に臺北州には[illegible]

茶園は植ゑてから五、六年間經過しなければ採取が出來ず、貧農階級には適しない事業で資力ある企業家が組合若くは資本合同團體でなければ出來ない譯である、近年長足の進步を來した新竹州下には自作茶園を有する茶業組合があちこちに創立され又新竹紅茶、新竹茶業の二會社も成立を見たが、[illegible]未だ[illegible]業者の退嬰とする所である、それで臺北州下の茶生產高は一年に僅か五、六百万斤しかなく、新竹州の一千万斤に比し甚だ遜色がある、臺中州では三庄製茶株式會社と持木氏が各々百甲步許りの茶園を持つてゐるだけであるが、日本茶業組合中央會議所會頭中村円一郎氏は數ケ月前から臺中州新高郡、能高郡に跨つてゐる官有地二百甲步の拂下げ出願中で許可された曉には茶園を經營すべく今後同州下の生產高は一、二百万斤に上る可能性がある、又臺東の大武方面も有望であるが大資本を要する、海拔二千尺以上の高地にして茶の栽培適地は島內に相當多く今後は官民の協力に依り栽培面積の擴張と肥培管理による多收に依り茶業の一大躍進が期待されてゐる

包種茶販路は矢張り滿洲國
南方への輸出は激減

【臺北電話】臺灣茶商公會の調べに依れば八月中の紅茶、包種茶、烏龍茶、[illegible]の輸移出高は二百七十七万五千[illegible]斤で七月分に比し五十二万[illegible]斤多く四月よりの累計は[illegible]に達した、[illegible]八月は前月に比し僅か五十二、三万斤しか增加しないのは七月十一日の事變勃發以來[illegible]包種茶の[illegible]が大量輸出されたが[illegible]二十一万二千斤と大阪の出荷を見た、[illegible]

[illegible]への輸入茶は支那茶が七割方を占めてゐるが、事變後は支那の輸出が杜絕するに至つた、そこへ臺灣茶の輸出商は好機逸すべからずと[illegible]に努めた結果七月中の[illegible]包種茶に於ては二十一万二千斤、八月中に二十一万二千斤と[illegible]を見た[illegible]

[illegible]

南部中間作鎌入れ不足
大部分は島內消費に振向け

【高雄電話】南部地方の中間作（陸稻）は臺南州下では半數以上收穫し高雄州下に目下鎌入れ最中であると二週間もすれば收穫を全部終了する見込であるが鎌入れ成績を見るに播種當初は旱害で伸びが惡く結實時に於ては雨でなやんだ結果高所地帶を除いては一般に實入り不充分にして收穫四割減と云はれ總收量は精々二千五百斤であり移出に振り向けられるものは極めて少數にして大部分は島內消費に振り向けられると見られてゐるが、島の飼料に振向けねばならないものも相當數量に上るのではないかと云はれてゐる、土壟間は上物千斤五十四円、普通四十四円即ち一期在來の現物に比べて約十円下値で買つけてゐる模樣である

臺糖の異動
臺北の中村所長は營業部次長に

臺灣製糖では今度次の通り異動が發令された

後壁林製糖所長　笠　勝士
停年退職
取締役農事部長　島田　信中
後壁林製糖所長兼務
臺北製糖所長　中村　勘吉
本社營業部次長
本社農事部技師　丸野　唯一
臺北製糖所長兼
車路墘製糖所長　佐伯　[illegible]
阿緱製糖所長
橋仔頭製糖所長　今吉　勝雄
車路墘製糖所長兼務
三崁店製糖所次長相原勝四郎
三崁店製糖所長
旗尾製糖所長　三善　丈夫
本社工務部次長兼務
本社農事部技師　奧田　常吉
埔里社製糖所次長
車路墘製糖所工務主任　友杉幸次郎
車路墘製糖所長代理
旗尾製糖所工務主任木村一郎
旗尾製糖所長代理

尚臺北製糖所長より本社營業部次長に榮轉した中村勘吉氏は本月二十日頃出發赴任の豫定であるが、氏は去る大正九年橋仔頭より臺北製糖所次長として來任、大正十四年所長[illegible]氏の後を繼いで所長に榮進今月に至り臺北製糖所にあること實に十八年に及び臺糖入社以來約二十二年になるさうである

東株の新會社出資
商工省は暫く認可保留

【東京六日發同盟】日本證券投資株式會社設立に對する東株の出資に關し商工省では東株が出資することが右會社の設立要件とはなつてゐない、新會社の融資上の便宜は東株が單にモーラルサポートを與へるだけでも十分目的が達せられるらしい情勢であるとの見解から暫く認可を保留することとなつた

日銀帳尻（單位千円）

【六日本社特電】

發行高	一、五三三、四四二	[illegible]
正貨準備	八〇一、〇〇〇	[illegible]
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]

東京市中コール

（六日本社特電）

	安值	高值	標準
翌日拂	〇・四〇	〇・六〇	〇・五〇
月越物	〇・八五	一・〇〇	〇・九〇

內外商況欄
（六日著電）

株式

投資會社の出現で全面的に急反撥

兜町前場況

【東京六日發同盟】長期投資會社の出現で全面的に活氣づき投資筋の買物と賣方の手仕舞ひから諸株一齊に急反騰した新舊株に新東、日商、東洋紡各二、四円高、人絹株も東京人絹二円餘高以下も軒並に一円四、六十錢高、砂糖株も鹽水港、帝糖、明糖新の二、三円高、日立、石川島、藤工業株は特に反撥が急で石川島、浦賀、新田、新潟、重工業、日立、池貝、日電工、製鋼、小倉製、神戸鋼、二、三円乃至四、五円方の奔騰が異彩を放つた炭礦株も北炭、九炭、磐城、入山、三菱鑛二、四円內外買はれ一般雜株も俄かに見直し日石、洋モス、白鷹耳、ビール、日蝕、帝麻等二、四円高、產金株肥料株も一、二円內外高く[illegible]のみ[illegible]新、舊二、四円安東株は新、舊二円八、九十錢高と[illegible]引けた

北濱雜觀

【大阪六日發同盟】昂進の上海戰局を[illegible]に[illegible]東株の市場[illegible]資本金二千万円で新會社成立の好影に依る東京高に大阪も追隨して主力株を中心に一齊高と寄付、[illegible]も利喰ひと安値[illegible]に底入れ[illegible]の[illegible]安値から十円見當の反騰を示し他の諸株も三、四円方引戻して久振りの活況を呈した

[illegible]

兜町展望

【東京六日發本社特電】事變以來の執拗な賣人氣に[illegible]種々複雜な原因もあらうが結局は投資の資金難がその主流をなしてゐるとあつて茲一兩日來東株首腦者は關係當局初め各有力筋銀行を歷訪し株價對策の[illegible]得たが東株の御熱心[illegible]は[illegible]だ▲從來の[illegible]

[illegible]

東京長期總取組

當限	八八〇、九七〇株	[illegible]
中限	七九一、六一〇株	[illegible]
先限	一〇四、四四〇株	[illegible]
合計	一、七七九、〇四〇株	[illegible]

東短取組喰合（四日）

新東	一九一、七〇〇株	賣方二七店 買方六一店
日蠶	四九、〇四〇株	買方一八店 賣方六九店

米期

馬越山種の策動に又復大波瀾を畫く

堂島米況前場

【大阪六日發同盟】休日前亂調子の氣先今朝は各地安に買氣振はず期近不味に先限は正米筋賣物[illegible]下放れて寄付き期近物に馬越山種の策動買に[illegible]の急反撥を受け先限も三十円十九錢まで買はれたがアト利喰と[illegible]の突賣りに[illegible]二十九円八十九錢と崩れ波瀾裡に結局引値は九十錢と引けた

堂島米況後場

【大阪六日發同盟】後場は[illegible]二十九円九十錢と六丁方上放れて寄付き更に[illegible]の〇九錢と[illegible]が[illegible]の九十一錢と叩かれ引値は結局九十一錢と[illegible]引けた

堂島兩建控除依合

當限	一一四、九〇〇石	[illegible]
中限	九〇、五〇〇石	[illegible]
先限	三八、七〇〇石	[illegible]

本日出來高　七一七、〇〇〇石

堂島前場先限主なる手筋

買方　正米筋、地場賣[illegible]
賣方　地場賣[illegible]、東京筋

同主なる手振

賣方　福田一、五〇〇[illegible]
買方　[illegible]

大阪正米標準值（六日本社特電）

內地中米	三一、七	朝鮮中米 三一、七
蓬萊米	二八、〇	在來種 一〇、〇
丸糯米	二一、〇	

東京銘柄清算前場

	當	中	先
▲一期蓬萊米	一〇円四六錢	一〇円四〇錢	不申
▲二期蓬萊米	一〇円五〇錢	[illegible]	[illegible]
▲二期丸糯米	一一円九〇錢	[illegible]	不申

堂島雜觀

【大阪六日發本社特電】相場の波は愈々荒く亂高下を示して來たが結局は保合にあり、秋天候の見定めがつくか政策の一端が判明するまでは自ら進出來以浮動性を帶び[illegible]

[illegible]

米界餘聞

【大阪六日發本社特電】當限硬軟の對立は[illegible]化してゐるが[illegible]

[illegible]

砂糖

安寄跡株高に底堅

清算【大阪六日發本社特電】外糖小緩みに賣物とマバラの買に安く寄りアト株高に賣物も[illegible]底堅く引けた

現物【大阪六日發本社特電】分蜜は手持薄に手當買あり手堅い[illegible]でしも[illegible]

大阪砂糖現物【六日本社特電】

[illegible]

大阪重要商品【六日本社特電】

[illegible]

神戸硫安相場

[illegible]

神戸穀肥市中相場

[illegible]

大連特產前場況

【大連六日發同盟】大豆は內地、外地ともボンヤリしながら前場一巡のアトとて寄付から保合を見せたがその後も買方[illegible]

[illegible]

島內商況

正米

仕手戰に波瀾高下

期米前場は[illegible]

[illegible]

正米跡氣配

◇後場一受渡休會[illegible]

基隆在庫米

[illegible]

高雄在庫米

[illegible]

臺米現物相場

[illegible]

臺中米價（六日）

[illegible]

臺南籾相場

[illegible]

高雄米糖相場

[illegible]

臺北糖粉雜穀

[illegible]

大連特產出來高

[illegible]

大連特產在荷高

[illegible]

誠　イ　池田商店　迅速